

令和2年度

事業報告書

公益財団法人 静岡県産業振興財団

目 次

概 要	1
公 1 産業創出支援	5
1 創業環境向上支援事業	5
2 新成長産業戦略的育成事業	6
3 先端企業育成プロジェクト事業化推進事業	10
4 EV・自動運転化等技術革新対応促進事業	10
5 静岡型航空産業育成事業	11
6 医療機器産業基盤強化推進事業	12
7 創業資金等支援事業	12
8 地域需要創造型等起業・創業促進事業	12
9 地域創生起業支援事業	12
公 2 経営基盤強化	13
1 中小企業支援センター事業	13
2 下請振興等事業	15
3 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業	17
4 中小企業IoT活用促進事業	19
5 産業成長戦略推進事業	23
6 事業承継支援事業	24
7 高度化資金貸付診断等事業	26
8 経営革新計画支援事業	26
9 設備貸与事業	27
10 中小企業振興貸与事業	29
11 設備資金貸付事業	29
公 3 科学技術研究開発支援	30
1 産学官技術交流促進事業	30
2 地域ビジネス応援事業	32
3 戰略的基盤技術高度化支援事業	33
公 4 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト	34
1 フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業	34
2 高付加価値型食品等開発推進事業	36
3 産業人材育成事業	37
4 健康食イノベーション推進事業	38

令和2年度 事業 報 告

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

< 概 要 >

新型コロナウイルスの感染症が認識されてから1年以上が経過し、2021年3月末の世界での感染者は累計1億2千万人、死者は280万人を超え、世界経済に大きな打撃を与えた。生産が急ピッチで進むワクチンの接種によりコロナ感染の終息が期待されるが、ワクチンが国内にいきわたるにはしばらく時間がかかるとみられる。またウイルスの変異株による感染者が増加するなど、景気の動向には先行き不透明感が拭えない状況にある。

こうした中、政府は、感染症の拡大防止策、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現、防災・減災、国土強靭化の推進など安全・安心の確保を柱とする「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」を策定し、また、令和2年度第3次補正予算を編成し、補正予算の着実な執行とともに予備費も活用して支援策を講じてきた。

県内経済は、「個人消費」についてはコロナウイルス感染症の影響から観光や飲食サービスで厳しい局面が続いている。製造業では、自動車関連において半導体不足の影響により減産の動きがみられるものの、電気機械などを中心に持ち直している分野もみられる。先行きについては、各種政策の効果や海外経済の改善の効果で持ち直しが期待されている。

令和2年度において静岡県では、実効性のある施策展開により、静岡県経済の持続的な成長を図っていくため、5つの産業成長戦略を柱とした産業成長戦略2020を策定し、県内企業の支援を実施した。

このような状況の中、当産業財団では、他の産業支援機関との連携を強化して事業を進めた。令和2年度の重点的取組として、昨年度に続き、創業者の成長支援、中小企業の新成長分野への参入促進のための支援や現場における経営改善活動を促進するための人材育成を実施した。

また、医療現場において、新型コロナウイルス感染症の蔓延により顕在化した課題に対応し、県内の“命を守る産業”の基盤強化に必要な資材、機器、システムなどの製品開発、生産等に係る経費に対して助成金を交付し、コロナ禍による急激な経営環境の変化に対応するための専門家派遣事業を実施した。販路開拓支援においては、下請受注機会の確保、展示会への出展支援を実施した。また、静岡県IoT活用研究会の運営等、次世代産業の創出を目指す取組を強化した。また、中小企業の円滑な事業承継の推進を目的とした支援体制を整備するため、静岡県、各市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークの連携を強化した。併せて県の産業成長戦略の一翼を担う「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」への取組を推進するなど、事業はおおむね計画どおり実施することができた。

< 事業総括 >

令和2年度の実施事業は、別図のとおりであるが、このうち、新成長分野や県の産業成長戦略関連など、当財団が2年度に特に重点的に取り組んだ事業は、次のとおりである。

(1) 創業環境向上支援事業

創業者の持続的発展を支援するため、事業計画の磨き上げや経営課題等への助言を行う講習会等を開催するとともに、創業支援ノウハウ等の少ない県内市町をサポートし、県内の創業環境の向上を図るため、支援能力向上を目的とした研修会や県内各市町が実施する創業セミナー

や創業相談会等の支援を行った。

(2) 新成長産業戦略的育成事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ県内中小企業が参入することを支援した。

助成事業では、成長産業分野に関連する自社の研究開発成果を活用して、製品化及びその事業化に取り組む活動に係る経費を助成したほか、航空機産業参入条件になつていて認証取得について、助成を行つた。

支援事業では、セミナー、研修会等の開催、コーディネーターなどによるマッチング支援等を実施した。

(3) EV・自動運転化等技術革新対応促進事業

EV（電気自動車）化、自動運転化などに対応するため、産業界や関係機関と連携しながら、地域企業の技術者養成や研究開発・事業化支援や、コーディネーターによる販路開拓支援を推進した。

(4) 医療機器産業基盤強化推進事業

医療現場において、コロナ禍により顕在化した課題に対応し、県内の“命を守る産業”の基盤強化に必要な資材、機器、システムなどの製品開発、生産等に係る経費に対して助成金を交付した。

(5) 専門家派遣事業

コロナ禍による急激な経営環境の変化に対応するとともに、創業支援、中小企業の経営基盤向上及び新分野進出等を支援するため、経営・情報・技術・デザイン・ISO等の専門家を派遣し、助言を行つた。

(6) 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業

県内製造技術・生産管理・品質管理・生産技術などの経験がある現場のリーダー候補を対象とした、現場における生産性向上につながる取組（品質向上、コスト低減、納期短縮等）を推進するリーダーを育成することを目的とした「静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール」を実施した。

(7) 中小企業IoT活用支援事業

静岡県IoT活用研究会の運営業務を受託し、県内中小企業におけるIoTの利活用を促進することにより、新たな企業連携・产学研連携の構築及び県内企業の基盤技術の強化、経営力の向上を図った。また、ふじのくにICT人材育成プロデューサーを配置し、ICT人材育成に関する施策の立案・調査や、ICTに関する企業の技術力向上を図った。

県内中小企業のテレワーク等導入・活用を促進するため、情報提供・意見交換・交流の場として「テレワーク等導入研究会」を設置及び開催し、テレワーク等導入時における課題等抽出及び課題解決方法等を検討し、報告書を作成した。

(8) 産業成長戦略推進事業

販路開拓・拡大に課題を抱える県内中小企業に対し、外部専門家が具体的にアドバイスを行う販売戦略サポート委員会を開催し、伴走型支援を実施した。

(9) 事業承継支援事業

中小企業庁委託事業「令和元年度補正予算プッシュ型事業承継支援高度化事業」の地域事務

局を静岡商工会議所と共同で受託し、静岡県、市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークを運営し、事業承継診断・事業承継計画の策定支促進したほか、親族内承継及び従業員等承継に関する支援ニーズに対して、承継コーディネーター、ブロックコーディネーター、専門家等が連携して支援を行った。

(10) 経営革新計画支援事業

中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認申請等に関する相談、申請受付、調査等を、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、金融機関等と連携して実施した。

(11) SDGs貢献企業支援事業

静岡県内中小企業者及び特定非営利活動法人が取り組むSDGs(持続可能な開発目標)達成に向け、地域資源の活用を始めとする新商品や新サービスの開発、販路開拓等を積極的に取り組む事業に対して、経費の一部を補助した。

(12) フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業

フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト第1次戦略計画に基づき、プロジェクトを推進する中核機関として、「超高齢社会を踏まえた健康寿命の延伸」と「経済の持続的発展を目指した新しいビジネスモデルの創出」に対応するため、食を中心とするヘルスケアの推進と、異分野の融合によるイノベーションの創出を図った。

(13) 健康食イノベーション推進事業

産学官金の交流を通じたオープンイノベーションを促進するため、「健康食コーディネーター」を配置するとともに、県・県立大学と連携した「健康・食イノベーションフォーラム」等を実施した。また、機能性表示食品等を活用したレシピ開発や海外市場向け製品開発・販路開拓を支援したほか、健康食メニューの開発・販路開拓事業、海外市場におけるテストマーケティング等を行った。

< 決算総括 >

令和2年度の経常収益は、公益目的事業及び法人会計合わせて1,306,077千円となり、前年度の1,128,902千円に対して177,175千円の増加となった。

経常費用は、1,327,772千円で前年度の1,181,643千円に対して146,129千円の増加であった。

令和2年度の収益・費用の増減要因としては、収益としては、期中に医療機器産業基盤強化推進事業の実施に伴う県補助金の補正、コロナ禍による急激な経営環境の変化に対応する専門家派遣事業の増加、テレワーク等導入促進事業の受託等により収益全体としてはプラスとなった。費用の増加としては、県からの上記補助金、受託金の増加に伴う経費支出などが挙げられる。これらのことから、当期経常増減額は、マイナス21,694千円と、前年度に比べて31,045千円のプラスとなった。

当期経常外増減額は、プラス5,015千円と、前年度に比べて4,298千円減少した。

このため、当期経常増減額と当期経常外増減額を合わせた当期一般正味財産増減額は、マイナス16,679千円と、前年度のマイナス43,426千円に比べて26,747千円の改善となった。

令和2年度事業一覧（決算額）

I 公益事業

	1,302,210	単位：千円
公1 産業創出支援	623,141	
	創業支援	
	1 創業環境向上支援事業	11,812
	2 新成長産業戦略的育成事業	212,131
	3 先端企業育成プロジェクト事業化推進事業	10,742
	新分野開拓	
	4 E V・自動運転化等技術革新対応促進事業	75,884
	5 静岡型航空産業育成事業	34,428
	6 医療機器産業基盤強化推進事業	199,377
	7 創業資金等支援事業	386
	8 地域需要創造型等起業・創業促進事業	933
	9 地域創生起業支援事業	70,008
	共通	7,441
公2 経営基盤強化	338,063	
	経営支援	
	1 中小企業支援センター事業	111,714
	2 下請振興等事業	61,369
	3 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業	13,504
	4 中小企業I o T活用促進事業	19,295
	5 産業成長戦略推進事業	6,335
	6 事業承継支援事業	25,325
	経営等診断	
	7 高度化資金貸付診断等事業	18,876
	8 経営革新計画支援事業	29,306
	設備支援	
	9 設備貸与事業	33,434
	10 中小企業振興貸与事業	12
	11 設備資金貸付事業	4,855
	共通	14,038
公3 科学技術研究開発支援	157,197	
	1 産学官技術交流促進事業	31,013
	2 地域ビジネス応援事業	12,206
	3 戦略的基盤技術高度化支援事業	110,019
	共通	3,959
公4 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト	169,675	
	1 フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業	87,098
	2 高付加価値型食品等開発推進事業	9,217
	3 産業人材育成事業	2,194
	4 健康食イノベーション推進事業	63,561
	共通	7,605
	公益目的共通	14,134

*各事業に配賦することが困難な費用は、公益目的事業に関する会計の中で「共通」の会計区分を設けて管理。

I 公益目的事業

() 内は前年度額

事業費 1,302,210 千円 (1,163,413 千円)

公1 産業創出支援

事業費 623,141 千円 (433,373 千円)

創業者、ベンチャー企業、新事業に挑戦する企業等の多様な経営課題に対する相談・指導、新事業の展開へ向けた資金調達の支援、販路開拓の支援、新分野開拓への支援等、新たな産業創出を支援する事業を行った。

1 創業環境向上支援事業 事業費 11,812,112 円

創業者の持続的発展を支援するため、事業計画の磨き上げや経営課題等への助言を行う講習会等を開催した。

また、創業支援ノウハウ等の少ない県内市町をサポートし、県内の創業環境の向上を図るため、支援能力向上を目的とした研修会や県内各市町が実施する創業セミナーや創業相談会等の支援を行った。

(1) 創業者成長支援事業

<創業スキルアップサロン> (開催場所: 静岡県産業経済会館)

開催日	業種別講習会	メンターサロン
R2. 9. 14	テーマ: 【飲食】 事例から学ぶ実践的飲食店経営のいろは 講 師: 株式会社ツーリズムデザイナーズ 代表取締役 田尾大介 氏 参加者: 10名 ■参加者評価 大変満足 60.0%、満足 30.0%、普通 10.0%	メンター 株式会社ツーリズムデザイナーズ 代表取締役 田尾大介 氏 参加者: 10名
R2. 9. 15	テーマ: 【観光】 地域資源を活用した観光ビジネス事例と実践のポイント 講 師: 株式会社ツーリズムデザイナーズ 代表取締役 田尾大介 氏 参加者: 12名 ■参加者評価 大変満足 41.7%、満足 41.7%、普通 16.6%	メンター 株式会社ツーリズムデザイナーズ 代表取締役 田尾大介 氏 参加者: 12名
R2. 10. 27	テーマ: 【小売】 小売業を創業する際に決めるべき 7つの事&売上を構成する5つの要素 講 師: 株式会社サイバーアシスト 代表取締役 吉村正裕 氏 参加者: 15名 ■参加者評価 大変満足 92.3%、満足 7.7%	メンター ①株式会社サイバーアシスト 代表取締役 吉村正裕 氏 ②株式会社ショービ 代表取締役 二村眞行 氏 参加者: 15名
R2. 11. 26	テーマ: 【IT】 IT活用による業務効率化とコスト削減について 講 師: 株式会社Japan IT Produce 代表 長谷川 徹 氏 参加者: 8名 ■参加者評価 大変満足 40.0%、満足 40.0%、普通 20.0%	メンター ①株式会社Japan IT Produce 代表 長谷川 徹 氏 ②株式会社アスタワン 代表取締役 久米幹夫 氏 参加者: 6名

(2) 市町等支援事業

<創業支援担当者研修> (開催場所: 静岡県産業経済会館)

開催日	テーマ	講師	参加者	
R2. 8. 4	これは簡単!!創業計画の作り方 ~実務で使えるフレームワーク~	織野経営相談所 代表 織野大輔 氏	23名	
R2. 9. 28	■参加者評価 同僚にも勧めたい内容 95.7%、勧めたくない内容 4.3%	事例に学ぶ“成功する創業・失敗する創業”	ビジネス・コア・コンサルティング 代表 坂本篤彦氏	19名
	■参加者評価 同僚にも勧めたい内容 100%			

R2. 10. 26	“戦略・分析・改善で制する”創業者に必要なプロモーション ～運・偶然・ノリまかせ・猿真似・気合と根性だと失敗しますよ～ ■参加者評価 同僚にも勧めたい内容 100%	株式会社サイバーアシスト 代表取締役社長 吉村正裕氏	17名
R2. 11. 9	事例研究 創業者体験談 ～創業者からみた創業支援の在り方～ ■参加者評価 同僚にも勧めたい内容 93.3%、勧めたくない内容 6.7%	株式会社ハーモニーリンク 代表取締役 馬込正氏 株式会社ヘッドライトジャパン 代表取締役 亀澤一公氏	15名

<創業支援機関ネットワーク会議>

開催日	開催場所	内容	参加者
R3. 3. 23	静岡県産業経済会館	(1) 経済産業省関連予算案等の概要について 関東経済産業局地域経済部産業技術革新課 総括係長 鈴木昌博 氏 (2) 静岡県の創業支援 静岡県経済産業部商工業局商工振興課 主査 鈴木健吾 氏 (3) ふじのくに移住・就業支援事業（県） 静岡県くらし・環境部企画政策課 主査 堀切川貴代 氏 (4) 創業支援事例「森のシロくま堂&支援機関」 森町商工会 経営指導員 平田 貢一 氏 (5) 創業支援事例「MONT-SAINT-FUJI（モンサンフジ）」 富士宮商工会議所 経営指導員 小笠原宏貴 氏 (6) 浜松市の創業支援体制及び地域の創業支援情報の提供 浜松市産業部産業振興課 はままつ起業家カフェ 所長 森 隆仁 氏	会場参加 27名 オンライン参加 61名

<市町個別支援>

相談内容	件数
情報提供・情報交換等	64 件
具体的な支援(講師派遣、個別相談対応等)	3 件
市町等の創業支援事業に対する助言(講師紹介等)	3 件
合 計	70 件

(3) 創業施策情報提供事業

一元的な情報発信によるワンストップサービスを提供するため、支援施策情報等をホームページ、メールマガジンで配信した。

- 財団専用ホームページによる情報発信(アクセス数) 70,857 回
- メールマガジン発行 24回 延べ 55,114 人 (2,296 人/回)

2 新成長産業戦略的育成事業

事業費 212,130,606円

本県経済の持続的な発展のため、成長が見込まれる産業分野の拡大を図り、国内外の経済情勢の変化を受けにくい多極的な産業構造の形成を目指す。今後の成長が期待される産業分野(新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境)への、中小企業の参入支援をより一層加速させるとともに、事業化や販路開拓支援にも重点的に取り組み、本県産業の成長力を強化して次世代成長産業の創出を図る。新たな成長産業分野への参入を目指す中小企業に対し、技術相談から研究開発、事業化・販路開拓まで一貫した支援に取り組んだ。

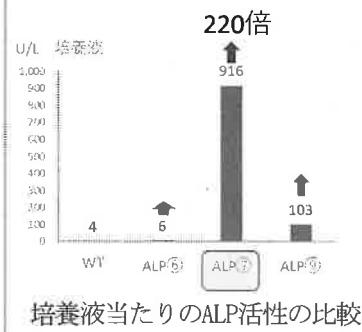
(1) 新成長産業助成事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ県内中小企業が参入することを支援するため、研究開発、事業化推進への活動に対して助成した。

①産学官連携研究開発助成

成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を大学・県内公設試験研究機関と連携して行う取り組みに対して助成した。

事業名・実績	助成例(抜粋)
産学官連携研究開発助成 助成件数 4件 (中小企業 3件) 確定金額 25,539千円	超高感度な感染症用検出システムの改良開発 結核菌を標的に高感度で迅速簡便な結核診断システム（結核菌検出キット）を開発するため、インシリコ解析に基づく人工設計による抗体への酵素の結合等の遺伝子レベルでの改良により組換え酵素標識抗体の生産方法を構築する。この結果、作製した組み換え抗体の内、ALP ^⑦ は、ワイルドタイプの組み換え体（WT）に比べ、培養液あたりでは約220倍の活性値を示した。今後残された課題をクリアし、結核診断用キット製造に活用し、本キット販売に繋げる。



②中小企業研究開発助成事業

成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を行う中小企業に対して助成した。

事業名・実績	助成例(抜粋)
中小企業研究開発助成 助成件数 4件 (中小企業 4件) 確定金額 4,961千円	IgE産生抑制作用および免疫機能賦活作用を有する乳酸菌を用い、抗酸化・骨形成作用が期待できる豆苗を発酵させた新規スプラウト発酵粉末の製品化 そばの芽を乳酸菌にて発酵させた発芽そば発酵エキスは、これまでの研究により抗アレルギー作用や間質性膀胱炎に対する作用など多くの機能性を有していることが明らかとなっており、非常に有用な健康食品素材である。しかしながら、原材料に食物アレルギーの特定原材料に指定されているそばを発芽させたそばの芽を使用していることから、これに替わる製品の開発が求められている。本事業では、発芽そば発酵エキスが抱える課題がなく、機能性成分を豊富に含む新たな野菜「豆苗」を原料とした発酵粉末を開発した。



発酵粉末の試作

③事業化推進助成

成長分野に関する研究成果を活用した新製品・新技術の開発及び事業化を行う中小企業等に対して助成した。

事業名・実績	助成例(抜粋)
事業化推進助成 助成件数 11件 (中小企業 10件) 確定金額 132,768千円	ナノセルロースを活用した医療福祉ニーズに応える機能性アロマ・基礎化粧品の開発 化粧品基材へのCNFの添加による香り成分の乳化及び安定化処方を確立し、その香り成分の徐放や乳化の安定化（香り成分を包摂するピッカリングエマルション）についてCNFの添加効果を確認した。また、匂いとして知覚し難いレベルのローズウォーターの成分自体が、ヒトの副交感神経の活性化（鎮静による抗ストレス等）に効果を有する可能性が見出された。今秋製品（乳液）を発売予定。



ローズウォーターを活用した化粧品

<これまでの成果>

助成金名	助成件数 (累計)	調査対象 調査時期	販売実績のある企業数	販売金額	知財等 取得件数
新成長産業 研究開発助成金 (H25～)	114社	R2.4 50社 (H30年度 助成まで)	20社	3,455,318千円	22件 (出願件数)

④航空機産業認証取得助成

航空機産業参入条件になっている品質マネジメントシステム規格「JIS Q 9100」や国際特殊工程認証システム「Nadcap」の認証取得にかかる経費を助成した。(原則、2年計画)

事業名・実績	助成例
航空機産業認証取得助成 ・平成28年度認証取得件数 3件 ・平成28年度指定件数 2件 ・平成29年度認証取得件数 2件 ・平成29年度指定件数 2件 ・平成30年度認証取得件数 0件 ・平成30年度指定件数 2件 ・令和元年度認証取得件数 2件 ・令和元年度指定件数 1件 ・令和2年度認証取得件数 1件 ・令和2年度指定件数 2件	JIS Q 9100 平成30年度は2社を指定した。(JIS Q 9100 : 2社)。 令和元年度は、前年度指定した企業2社が、JIS Q 9100の認証を取得了。 また、新たに1社について、JIS Q 9100の認証の交付指定をした。 令和元年度は1社を指定した。(JIS Q 9100 : 1社)。 令和2年度は、前年度指定した企業1社が、JIS Q 9100の認証を取得了。 また、新たに2社について、JIS Q 9100の認証の交付指定をした。

(2) 新成長産業支援事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ、県内中小企業が参入することを支援するため、ビジネスマッチング、啓発、人材育成、販路開拓、調査・研究、試作・実証試験への助成などの事業を行った。

分野	セミナーの開催等	展示会への出展	マッチング
次世代自動車	—	第18回学生フォーミュラ日本大会2020への支援 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催者が開催を中止した。	—
医療・福祉機器	医工連携スタートアップ支援事業 (委託)(採択件数5社) 	医工連携出会いのサロン(委託) (第48回日本救急医学会総会に併設される展示会に出展。 令和2年11月18～20日、岐阜メモリアルセンター愛ドーム、出展5社) 	—

分野	セミナーの開催等	展示会への出展	マッチング
ロボット	<p>ロボット活用による先進ものづくり人材の育成(委託) 新型コロナウイルスの全国的な感染拡大状況に鑑み、本事業を中止した。</p> <p>ロボット産業参入のためのセミナー事業 開催日：令和2年11月9日～15日 開催方法：YouTubeによるWeb配信 受講者数：73名（再生回数175回）</p> 	<p>第5回ロボデックスへの出展支援 (令和3年1月27日～29日、東京ビッグサイト 青海展示棟)</p> <p>出展申込2社（定数の半数未満）であったため、新型コロナウイルス警戒レベル及び費用対効果を考慮し、出展を中止した。</p>	—
航空宇宙	<p>航空宇宙中核人材育成事業(委託) 西部会場：令和2年11月6日～12月22日 中部会場：令和2年11月13日～12月24日</p> <p>講義：静岡県産業振興財団 実習：静岡県立浜松技術専門校 受講者数 17名</p> 	<p>航空宇宙開発展への出展支援(委託)（令和3年2月3日～5日、幕張メッセ） 出展申込5社</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出展を中止した。</p>	<p>専門家（川崎重工等O B）によるマッチング支援(委託) 静岡県内企業、航空機関連メーカー訪問によるマッチング支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問件数：129件 ・見積件数： 23件 ・売上：327百万円
環境	—	—	<p>静岡県・浙江省環境プラットフォーム事業（委託）</p> <p>① 県内ビジネスマッチング 令和2年6月30日及び12月7日 場所：県内企業及びウェブ会議 参加：浙江省企業2社</p> <p>② 浙江省ビジネスマッチング (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止)</p> <p>③ 環境協力推進会議 令和3年12月16日（ウェブ会議）</p>
共通	・ホームページの運営（閲覧者数 8,681名）		

<令和元年度事業の成果>

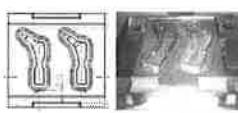
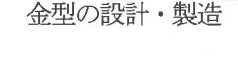
事業名	開催期日	開催場所	出展者数	調査時期	成立件数	成立金額
第5回ロボデックス	R2. 2. 12 ～14	東京ビッグサイト	6社	1年後	5件	1, 148千円

3 先端企業育成プロジェクト事業化推進事業

事業費 10, 741, 820円

国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）と共同で行った先端企業育成プロジェクト推進事業（県補助金）終了分野の研究開発成果を活用し、事業化につなげるために、研究開発を行う県内企業に対して助成した。

(1) 助成事業

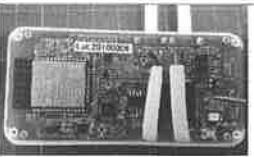
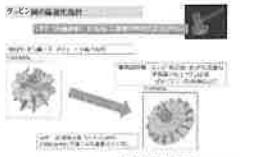
事業名・実績	助成例(抜粋)
先端企業 育成プロジェクト 事業化推進助成 助成件数 1件 (中小企業 1件) 確定金額 10, 666千円	国産技術による人工股関節システム（パイプ状の部品）の量産化、品質保証体制の確立  人工股関節システムの量産化に向けて工程数の削減（12工程から11工程）、寸法の高精度化（バラつき0.5mm以下）、を達成するとともに、内部欠陥等の品質保証体制を確立した。本成果を活用することで大手医療機器メーカー向けOEM事業を進め、5年後には年間310セット、33百万円の売上を見込む。  金型の設計・製造

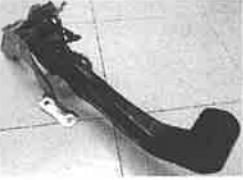
4 EV・自動運転化等技術革新対応促進事業

事業費 75, 884, 018円

EV（電気自動車）化、自動運転化などに対応するため、産業界や関係機関と連携しながら、地域企業の技術者養成や研究開発・事業化支援や、コーディネーターによる販路開拓支援を推進した。

(1) 助成事業

事業名・実績	助成例(抜粋)
次世代自動車技術 革新対応促進助成 （産学官連携型） 助成件数 1件 (中小企業 0件) 確定金額 10, 000千円	2モーター選択制御式変速機構を用いた超低電費車両用変速システムの開発  電気自動車における諸課題（車両販売価格、モーター消費電力量、走行時電気代、航続可能距離、充電時間、車両重量など）の解決を目的として①低歪熱処理ギヤ、②低騒音ギヤ、③最適モード切替制御、④ローラーかしめ加工、⑤アシンメトリーギヤ、⑥超高速運転対応、⑦モーター軸廉価化の開発に取り組んだ。従来型の単体モーター式電動車に比べて、約10%の走行電費改善効果を見越して開発を進め、各課題を解決することで減速機の実用化を図り、「25年の市場販売を目指す」。 テストコース実車測定
次世代自動車技術 革新対応促進助成 （一般型） 助成件数 2件 (中小企業 2件) 確定金額 4, 184千円	自動車運転中の居眠りおよび体調異常検知センサの開発  運転中のドライバーの生体情報から居眠りの兆候や運転者の体調異常を正確に検知できれば、異変時にアラート等で報知や自動ブレーキとの連動により事故を減少させることができることから、運転席の座席から呼吸を検知して、自動車運転中の居眠りの兆候と体調異常検知するセンサ技術を開発した。 センサデータ出力装置
次世代自動車技術 革新対応促進助成 （事業化型） 助成件数 3件 (中堅企業 3社) 確定金額 33, 341千円	内燃機関の排気エネルギー再利用による熱効率向上装置の開発  燃料の1/3といわれる排気として捨てている内燃機の損失（排気損失・排気エネルギー）を利用し、電気エネルギーを回収する装置を開発する取り組み。発電量向上（6.4kW→8.8kW）によりエンジン熱効率が2~5POINT向上した。 タービン翼最適設計

<p>試作品開発助成 (次世代自動車) 助成件数 8件 (中小企業 7件、 中堅企業 1件) 確定金額 10,035千円</p>	<p>ブレーキペダルホットスタンピング化による軽量化部品開発</p> <p>ブレーキペダルホットスタンピング化により、従来の厚板ペダルと比較して503gの軽量化（削減率46.1%）、成形精度公差±0.7mm以下を達成するとともにスプリングバックなしの成形品が得られた。</p>	 <p>部品組み立て試作品</p>
--------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

（2）支援事業

分野	セミナーの開催等	展示会への出展	マッチング
次世代自動車	<p>次世代自動車中核人材育成講座 ①最新動向セミナー 開催日：令和2年10月12日～18日 開催方法：YouTubeによるWeb配信 受講者数：200名（再生回数499回）</p> <p>②設計シミュレーション実習 開催日：令和2年11月30日～12月27日 開催方法：YouTubeによるWeb配信 受講者数：11名（事前予約制）</p> <p>③要素技術研究講座 開催日：令和2年12月7日～27日 開催方法：YouTubeによるWeb配信 受講者数：8名（事前予約制）</p>	<p>人とくるまのテクノロジー展2020への出展支援 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催者が開催を中止した。</p> 	<p>次世代自動車コーディネーター 産業財団2名配置 企業訪問件数：194件（内新規45件）</p> <p>次世代自動車ビジネスマッチング in トヨタ東富士研究所 ウェブ会議形式による面談を実施した。面談企業4社、面談件数5件、成約件数1件【6ヶ月後】）</p>

<令和元年度事業の成果>

事業名	開催期日	開催場所	出展者数	調査時期	成立件数	成立金額
人とくるまのテクノロジー展2019	R元. 5. 22～24	パシフィコ横浜	6社	1年後	16件	59,515千円

5 静岡型航空産業育成事業

事業費 34,427,900円

航空機産業における中小企業の受注活動の拡大や技術高度化を図るとともに、MRO（整備・修理・オーバーホール）関連産業の視野を広げることを目的とする。

航空機産業の振興を図るために、地方創生推進交付金を活用し、以下の事業に取り組んだ。

（1）助成事業

事業名・実績	助成例(抜粋)
<p>航空機産業設備投資事業 助成件数 4件 (中小企業 3件) 確定金額 32,822千円</p>	<p>対向主軸ターニングセンタ</p> <p>既存の設備であるNC旋盤（2機）、立型マシニングセンタ（1機）に追加して、対向主軸ターニングセンタを導入することにより、工程間の段取り時間を10時間／日、1部品当たりの加工時間を90分削減ができた。</p> <p>対向主軸ターニングセンタ</p>

6 医療機器産業基盤強化推進事業

事業費 199,376,737円

医療機器産業等の基盤強化に必要な初期投資を重点的に支援し、医療現場の課題の解決に繋げると共に、県内中小企業の医療健康産業など「命を守る産業」へのシフトを図る。

(1) 助成事業

事業名・実績	助成例(抜粋)
<p>医療機器産業基盤強化 推進事業</p> <p>助成件数 17件 (中小企業 15件、 コソーシアム 2件) 確定金額 188,129千円</p>	<p>イムノクロマト_NanoSuit法による簡便・迅速・高感度検査技術開発</p> <p>近年、申請者は、「生物機能の高度活用技術」の一つとして、生物試料を「生きたまま・濡れたまま」高真空を必要とする電子顕微鏡で観察できるNanoSuit®法を確立した。本助成事業における更なる技術開発により、簡便・迅速に多くの試料をそのまま電子顕微鏡で観察することができるようになった。これにより、肉眼診断に比べて最高100倍以上の感度を示した。これはPCR診断にほぼ等しい値であり、イムノクロマトグラフィーの世界最高感度を達成した。新型コロナウイルス検出に対する実証試験を実施し、事業化へ繋げる。</p>  <p>ナノスート法を用いた イムノクロマトグラフ ィー診断への応用</p>

7 創業資金等支援事業

事業費 386,060円

創造的中小企業創出支援事業（間接投資）

平成 24 年度に終了した創造的中小企業の発行社債に対する債務保証業務について、債権回収管理業務を行った。

8 地域需要創造型等起業・創業促進事業

事業費 932,987円

独立行政法人中小企業基盤整備機構から創業補助金の静岡県事務局の委託を受け、平成 24 年度補正予算事業及び平成 25 年度補正予算事業に係る補助金交付先の管理業務を行い、令和 2 年 12 月で完了した。

○事業化等状況報告書の受理・確認

事業年度区分	件数
平成 24 年度補正予算事業	103 件
平成 25 年度補正予算事業	45 件
合 計	148 件

9 地域創生起業支援事業

事業費 70,007,645円

地域の社会的課題をビジネスの手法で解決する起業を支援するため、創業事業費に要する経費の一部を補助すると共に起業者への伴走支援を行った。

(1) 起業支援金

交付件数	36 件
交付金額	52,264 千円

【成果】

売上高累計（創業～令和 2 年 12 月）	44,101 千円
従業員数累計（創業～令和 2 年 12 月）	84 人

(2) 伴走支援

交付決定した起業者に中小企業診断士を派遣し、事業計画の相談対応や販路開拓等の経営支援を行った。

- ・実施回数 71 回

公2 経営基盤強化

事業費 338,063千円(352,851千円)

企業が抱える経営課題等への相談や経営革新への取組に対する指導、課題解決のための専門家派遣、下請企業への受注機会の提供、取引条件の改善支援、設備投資に対する有利な条件の資金の供給等、中小企業の経営基盤の強化を図る事業を行った。

1 中小企業支援センター事業

事業費 111,713,997円

中小企業を取り巻く社会的・経済的環境の変化に対応し、独自技術・サービスの開発や新事業の展開を目指す中小企業の取組を支援した。

(1) 支援体制整備事業

① 支援機関等連携促進事業

○県内支援機関等との情報交換・事業連携等のための会議

「静岡県支援機関連絡促進会議」 R2.7.21 於：静岡県産業経済会館3F 大会議室

(内容)

講演会 「コロナ禍におけるこれからのIT活用」
～支援現場から見えてきたテレワーク・WEB・効率化の実態～
講師：ITコーディネーター・中小企業診断士 岸本圭史 氏

参加者：会場参加20名、Web参加25名

○県内支援機関等との情報交換・事業連携のため訪問

訪問日	訪問先	目的
R3.3.4	東部4信金ビジネスマッチングフェア	情報交換・事業連携

○全国またはブロック単位の会議参加や他都道府県の支援機関等が行う会議への参加

・2回 3人

訪問日	訪問場所	目的
R2.11.12	関東経済産業局	補助金説明会
R3.3.10	プラサヴェルデ（沼津市）	富士山麓産学官金連携フォーラム

○経営革新支援

経営革新パンフレットを作成し、経営革新相談窓口（地域支援センター等）へ配布

○国の補助金等の認定支援

- ・新型コロナウィルス感染症等に係る～固定資産税～課税標準の特例措置に関する申告 1件
(固定資産税・都市計画税の軽減)
- ・「認定経営革新等支援機関による所見等」 1件

② 支援体制整備事業

○専門家の登録及び支援企業の募集

- ア. 創業者や中小企業者が抱える問題・課題解決を支援するための専門家（経営、情報化、技術、デザイン、ISO分野）の登録更新・新規登録者の募集を行った。
なお、登録専門家はホームページ上で公開している。

専門家登録数

R2年度当初登録者数	497名
R2年新規登録者数	24名
合 計	521名

イ. 専門家派遣事業・財団支援事業の広報

ホームページにて随時

メールマガジン（月2回配信） 延べ55,114人：2,296人／回

ウ. 支援メニュー紹介、支援企業募集・発掘・相談・及び専門家派遣の事前調査・同行・事後指導等

87社・団体へ訪問(73回115人)

(2) 専門家派遣事業

創業者や中小企業者の経営基盤向上、新分野進出等を支援するため、経営・情報化・技術・デザイン・ISO分野の専門家の登録、および情報の公開を行い、中小企業者等からの要請に応じて専門家を派遣（1／3受益者負担）し、助言を行った。なお、ISO分野で認証取得を目指す企業に対し長期（1企業10回予定）の専門家派遣を実施し、認証取得の支援を行った。

①通常枠

実施数：派遣 215 社 1,126 回

分野	経営	情報化	技術	デザイン	ISO 支援	コロナ	合計
派遣企業数 (社)	118	34	11	7	4	41	215
派遣回数 (回)	595	172	55	41	29	234	1,126

②コロナ対策枠

実施数：派遣 305 社 1,217 回

分野	経営	情報化	技術	デザイン	ISO 支援	合計
派遣企業数 (社)	188	85	11	18	3	305
派遣回数 (回)	708	375	41	65	28	1,217

(3) 人材育成・情報提供等事業

①経営支援担当者研修

支援担当者の支援スキル向上の為、研修に職員を派遣した。

開催日	テーマ	開催場所	出席者
R2. 8.25	地域にとってのSDGsとその実践	静岡市産学交流センター	1名
R2. 9.12	中小企業診断士理論政策研修	静岡商工会議所	9名
R2. 9.26	〃	静岡商工会議所	1名
R2. 10.12	〃	アクトシティ浜松	1名
R2. 11. 4	営業の基本と実践テクニック	アゴラ静岡	1名

② ISOセミナー開催

ISOを認証取得している企業又は認証取得しようとする中小企業を対象として、維持推進に必要なISO内部監査員の育成（受益者負担有り）を行った。

（計画） ISO9001・14001 2コース（各2日間）、受講者 20名／コース

（実績）

開催日	研修名	開催場所	受講者
R2. 10. 3～4	ISO 9001 内部監査員養成講座	静岡県産業	32社 44名
R2. 10. 15～16	ISO14001 内部監査員養成講座	経済会館	12社 17名

(4) 地域中小企業支援センター支援事業

地域中小企業支援センター（17ヶ所）に経営革新計画作成に対する指導・支援、経営革新計画遂行状況を把握するためのフォローアップ調査を委託した。

委託する支援センター	承認件数	相談件数
下田商工会議所	2件	7件
伊東商工会議所	5件	19件
熱海商工会議所	2件	6件
三島商工会議所	15件	16件
沼津商工会議所	19件	253件
富士商工会議所	3件	24件
富士商工会議所	26件	45件
静岡商工会議所	61件	128件
焼津商工会議所	2件	11件

藤枝商工会議所	1 件	73 件
島田商工会議所	3 件	42 件
掛川商工会議所	2 件	37 件
袋井商工会議所	33 件	145 件
磐田商工会議所	11 件	70 件
浜松商工会議所	56 件	73 件
静岡県商工会連合会	162 件	158 件
静岡県中小企業団体中央会	99 件	99 件
計	502 件	1,206 件

2 下請振興等事業

事業費 61,369,135 円

県内中小企業への受注拡大を図るため、商談会等による販路開拓機会の提供を行った。

(1) 下請振興事業

①支援体制整備事業

ア. 支援体制整備円滑化事業

下請取引に係わる企業データベース管理のため、企業カルテシステム（セールスフォース）を活用し、受注企業の検索、新規登録企業の入力、各種商談会・展示会の開催周知等を行った。

イ. 支援機関等連携促進事業・支援担当者能力開発事業

全国またはブロック単位の会議及び研修会へ参加した。

○公正取引委員会中部事務所との会議

○下請かけこみ寺相談員等研修会

○関東ブロック中小企業支援機関連絡協議会担当者会議

○下請かけこみ寺事業に係る関東ブロック情報連絡会議

②窓口相談事業

ア. 下請取引に係る苦情相談

電話等による法律相談（職員回答）にて助言を行った。

下請法関係	下請法以外		
受領拒否	0 件	債権回収	42 件
支払遅延	2 件	契約・取引	48 件
代金減額	1 件	損害賠償	4 件
返品	2 件	会社経営	0 件
買いたたき	7 件	その他	50 件
その他	15 件		
合 計	27 件	合 計	144 件

イ. 顧問弁護士による法律相談

弁護士による相談（相談日：原則毎月第2月曜日、年12回実施）

相談内容	件数
債権回収	7 件
契約・取引	1 件
損害賠償	1 件
会社経営	0 件
その他	1 件
合 計	10 件

③取引あっせん事業

ア. 受発注企業の情報提供事業

○下請取引あっせん集計一覧表

年 度		令和元年度	令和2年度
項目			
登録企業数	発注企業	762	761
	受注企業	2,890	2,900
発注申し出件数		93	67
受注申し出件数		79	29
あっせん紹介件数		271	192
あっせん紹介結果	成 立	60	29
	不成立	21	948
	折衝中	1,164	379
契約成立当初受注金額		41,196千円	11,048千円
発注開拓企業件数		99	77

※コロナ禍、下請企業の受注量確保のため、県内外の大手・中堅企業 77 社（専門調査員巡回 56 社を含む）に対し巡回による発注開拓を行い、67 件の新規発注案件を開拓した。

○情報の提供

静岡新聞、民間情報機関誌等により、受・発注情報を広く提供した。

○専門調査員による受発注企業情報の収集

発注企業情報収集専門調査員（2名）により、受・発注登録企業を巡回し、近況を把握すると共に、各種の相談に応じたほか、発注案件の掘り起こしを行った。また、発注企業 56 社、受注企業 121 社を訪問し、25 件の発注案件を掘り起こした。

イ. 商談会等の開催事業

県内中小企業の取引拡大と販路開拓を支援するため、以下の事業を実施した。

○受発注企業合同商談会（オンライン商談等は、長野県・山梨県との3県合同で実施）

開催年月日	開催場所	参加企業		商談件数	商談成立件数	商談成立金額	今後発注予定	見積り取り交わす	工場見学済・予定
		発注企業	受注企業						
R2. 10. 23	富士市	10 社	37 社	48 件	令和3年5月に調査実施、集計中。				
R2. 11. 9 ～ 11. 27	オンライン商談等	27 社	122 社	359 件	7 件	2,392 千円	-	-	-

<令和元年度事業の成果>

開催年月日	開催場所	出展社数	調査時期	商談成立件数	商談成立金額
R2. 2. 6	富士市	発注 21 社 受注 96 社	1 年後	7 件	3,659 千円

○展示会出展支援

新たな販路開拓を積極的に行う中小企業を支援するため、大規模な集客が見込まれる首都圏の専門展示会に静岡県ブースとして共同出展を予定したが、コロナ禍の影響により出展を中止した。

事業名	開催期日	開催場所	出展予定	成立件数	成立金額
第 25 回 機械要素技術展	R3. 2. 3 ～ 2. 5	幕張メッセ	8 社	—	—

<令和元年度事業の成果>

事業名	開催期日	開催場所	出展社数	調査時期	成立件数	成立金額
第 24 回 機械要素技術展	R2. 2. 26 ～ 2. 28	幕張メッセ	6 社	1 年後	12 件	1,687 千円

○特定発注企業個別商談会

発注案件を持つ特定企業 1 社とのマッチングを目的に、複数の県内中小企業が個別面談を行う商談会を開催した。（株）オティックス（愛知県）との商談会も計画していたがコロナ禍の影響により令和3年度に延期することとした。

開催期日	参加企業	
	発注企業	受注企業
Web 展示会 R3. 2. 25～R3. 4. 22	ダイハツ工業㈱（大阪府池田市）	24 社

ウ. 発注企業現況調査

静岡県が県内発注企業 300 社に実施した「発注企業現況調査」の結果に基づき、発注案件「あり」または「検討中」と回答のあった 36 社のうち、7 社に対し発注開拓訪問を行った。

エ. 下請取引適正化講習会の開催事業

下請取引の適正化を推進するため、「下請代金支払遅延等防止法」等の内容について講習会を開催した。

回数	開催日	会場	講師	参加人数
1	R2. 9. 28	静岡県産業経済会館（静岡市）	公正取引委員会 中部事務所 朝夷竜也 氏	31 社 32 名
2	R2. 10. 6	富士商工会議所（富士市）		26 社 29 名
3	R2. 10. 7	浜松グランドホテル（浜松市）		29 社 30 名
合 計				86 社 91 名

（2）情報支援事業

①支援体制円滑化事業

ア. 情報機器の整備及び情報収集・提供

ホームページの活用による情報提供とともに、各種施策についてメールマガジンの発行、相談窓口において経営資料の提供・閲覧・視聴覚教材（ビデオ）の貸出等を行うほか、所内のネットワーク機器を整備した。

- ・ホームページへのアクセス件数 70,857 件
- ・メールマガジンの発行 24 回（月 2 回） 延べ 55,114 人（2,296 人／回）
- ・ビデオ・DVD 等貸出 52 件 234 本

イ. 「公的融資・助成金等の手引き」の作成・配布 900 部

県・市町・支援機関・政府系金融機関の公的融資・助成金等の情報を収集し、手引きを作成・配布。

②窓口等相談事業

中小企業者等からの経営資源に係る情報相談等に対応するため、相談窓口に情報相談員を配置して情報資料の閲覧、視聴覚ビデオの貸出、インターネット等を活用した検索サービスを行った。

また、静岡県中小企業診断士協会の支援を受け、毎週水曜日に相談員を配置し、創業や経営相談に応じた。

○ 窓口相談件数

（相談内容）

（単位：件）

取引相談	経営全般	資金調達	マーケティング	法律・労務・税務	技術	ビジネスプラン	事業提携・会社設立	省エネ・ISO	特許	その他	合計
323	108	3	45	197	116	11	5	0	8	1,334	2,150

3 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業

事業費 13,503,992 円

現場改善による生産性向上によって県内中小企業・小規模事業者の付加価値の増大を促進することを目的に、県内製造技術・生産管理・品質管理・生産技術などの経験がある現場のリーダー候補を対象とした、現場における生産性向上につながる取組（品質向上、コスト低減、納期短縮等）を推進するリーダーを育成することを目的とした「静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール」を実施した。

（1）「静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール」の開講

開講期間：R2. 9. 18～12. 11 全18回

受講者数：20名（現役20名）

共 催：三島商工会議所、沼津商工会議所、富士商工会議所、富士宮商工会議所

【座学】

場 所：三島信用金庫本部会議室、三島信用金庫三島南支店会議室

内 容：東京大学大学院 藤本隆宏教授の「生産マネジメント理論」を基礎に「良い設計の良い流れ」づくりを目指し、現場改善手法や現場管理手法等の理論を習得した。

回数	日 程	講師	内 容	
1	R2. 9. 18	國方	開講式及びガイダンス	講義スケジュールの説明と注意事項
			ものづくりの基礎概念	ものづくりとは何か、カリキュラムを貫する考え方
			リードタイム	リードタイムとは何か、どうすれば短縮でき、短縮するとどんな効果が生じるのか
2	R2. 9. 25	仲田	職場のムダを排除する	7つのムダ、改善の切り口
			現場改善事例	課題抽出、対策実施、効果測定までのプロセスの改善事例
3	R2. 10. 2	山本	現場分析の方法	分析様式はどの様な時にどの様に用いるのか、各種分析方法の習得(リードタイムなど)
4	R2. 10. 9	柴田	VSMの基礎	VSMの解説、VSMでの現場の見方
			VSM作成演習	現状マップの描き方
5	R2. 10. 16	仲田	良い流れを作る生産管理と発注管理	生産管理がリードタイム短縮に果たす役割 備えるべき項目、仕掛品削減と発注管理
			在庫管理と原価管理	場内在庫の把握方法・管理方法、削減方法、仕掛在庫が減少した時に経営数値に現れる場所
6	R2. 10. 23	鈴木	5S・5定	5S・5定の定義と効果、実施方法など
		山本	良い流れを作る品質管理	従来の品質管理の問題点、不良を出さないための品質管理、良い流れの中での品質管理
			ロット生産と一個流し	ロット生産と一個流しのメリット・デメリット
		國方	良い流れを作る設備レイアウト	良い流れを作る設備レイアウト、事例紹介
7	R2. 10. 30	山本	IoT、AI、ロボット導入事例と効果	生産性向上に必要なIoT、AI導入事例 良い流れを実現する生産管理と工程管理を生産形態別に考える
			導入企業の事例紹介	様々な業種での導入事例と効果について
		外部	企業によるIoT導入事例紹介	導入事例、問題点と効果、運営費用など
8	R2. 11. 6	仲田	現場改善実習の進め方	具体的な進め方、帳票類の説明
		山本	動作分析実習	動作分析の重要性と目的と要点(分割点、分析動作、測定回数)、動作分析方法、メリット・デメリット、ビデオ映像による動作分析演習
		小楠	分析手法・ツールの紹介	パレート図、QC7つ道具、ガントチャート、出荷量・生産量グラフ

【現場実習・成果発表】

場 所：県東部の製造業4社（現場実習）

三島市民文化会館（成果発表会）

内 容：受講者を4グループに分け、ものづくり中小企業4社にて、工程分析や作業分析を行うことで、現場改善手法を習得する。また、グループワークを通じ、指導者や現場リーダーに求められる指導力、リーダーシップを習得した。

回数	日 程	講 師	内 容
9	R2. 11. 12	仲田、山本、小楠、鈴木	経営者との打合せ、現場の確認、全体計画、目標の策定
10	R2. 11. 13		
11	R2. 11. 19		
12	R2. 11. 20		
13	R2. 11. 26		現場改善実習 (「モノと情報の流れ図」の作成、ビデオ動作解析、現場担当者へのヒアリング、レイアウトの見直し、改善の実践 等)
14	R2. 11. 27		
15	R2. 12. 3		
16	R2. 12. 4		
17	R2. 12. 10		チーム改善提案（実習先企業）
18	R2. 12. 11		チーム改善発表（三島市民文化会館）
講 義	現場実習	修了式	
			

○ 改善成果

企業	改善実施項目	想定される改善効果
A社（自動車部品成形）	サイクルタイム短縮、レイアウト見直し、生産管理方法の見直し	サイクルタイム短縮：約8.7千円/月の改善 稼働率20%向上：300千円/月の改善
B社（自動車部品板金・プレス）	生産性向上改善と品質チェックのスリム化	サイクルタイム短縮
C社（螺子、螺子部品）	生産計画の見直し、工程の見直し	適正在庫と負荷平準化：3,800千円/年削減 工程見直し：本社工場生産移管により時間短縮
D社（自動車部品鋳物）	リードタイムの短縮、生産の集約による生産性向上	リードタイム33%短縮（目標：30%）、無駄な運搬や在庫削減

4 中小企業IoT活用促進事業

事業費 19,295,367円

静岡県IoT活用研究会の運営業務を受託し、県内中小企業におけるIoTの利活用を促進することにより、新たな企業連携・産学官連携の構築及び県内企業の基盤技術の強化、経営力の向上を図った。

（1）静岡県IoT活用研究会

会員数：302社・団体（企業251、産業支援機関21、大学・学校6、金融機関15、市町9）

(1) テーマ別 研究活動事 業	◎企業間データ連携分科会／生産効率化分科会／活動 ①セミナー「デジタル化に向けたIoTで成果をあげるためのデータ活用講座」 開催日 令和2年12月4日 令和2年12月11日の二日間コース 開催場所 磐田グランドホテル アネックス1F 講 師 株オオサワ・ビジネスコンサルティング 中小企業診断士 馬淵裕一 氏 《内 容》 IoT活用によりデータを収集し原価に反映させ生産性向上にどう結びつくのかを決算書を用いてエクセルにデータ入力し体験。 ・導入結果から⇒どう改善へ ・決算書サンプルを使い製造原価へ反映させてみる（EXCEL活用） ②沼津明協IoT支援 ・コロナの影響により、今後の支援について明電舎と協力企業へのIoT導入検討会の実施 令和2年10月2日 明電舎 本社1F 《参加者》 IoT活用研究会 財団 長井、IoT研究会コーディネーター 渡邊嘉彦 株明電舎 執行役員 調達本部長 白鳥宗一 株明電舎 生産技術部 専任部長 水野正浩 株明電舎 調達本部 企画管理課 藤田和久 他5名

	<p>《内 容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内サプライヤーの見直しに伴い、明電舎・協力企業が助け合いながら共に、生産性向上が必要。 ・昨年までのセミナーで課題・カイゼンの方向性を見出してきた 　　テーマ：「在庫管理」「作業管理」「作業カイゼン」 <p>■積極的企業→さらなる支援により伸ばす必要あり→個別支援 ■サプライヤーの温度差が大きいので全体的な底上げも必要 →現場社員の意識向上が必要</p> <p><u>小さなカイゼンから取り組む事が重要。IoTはあくまでも手段である。</u></p> <p>《今後の支援について》</p> <p>☆ I T・I o Tによるカイゼン事例を中心としたセミナーの開催 目的：多くの事例・ツール情報を聞くことで生産性向上に向け現場意識を高める。 ☆積極的な個別企業を選定し小さなカイゼン事例をつくる</p>
(2) 個別企業支援事業	<p>◎コロナ禍において、企業訪問が制限された事から「IoT 大学連携講座」の参加企業で継続支援を望む企業について個別支援を行った。(産学連携促進・活用技術向上)</p> <p>①八木工業㈱(藤枝市) 令和3年3月18日／25日／26日 支援専門家→㈱叢雲堂 池谷氏 (内容) 夜間稼働設備の稼働状況の見える化支援</p> <p>②大洋コンクリート工業㈱(浜松市北区) 令和3年3月19日 支援専門家→㈱叢雲堂 池谷氏 (内容) 量産コンクリート製品の加工数の管理</p> <p>③東亜エレクトロニクス(浜松市北区) 令和3年3月12日 支援専門家→名倉氏 (内容) 組立作業の作業性向上のための作業データ取得</p>
(3) IoT 活用事例普及事業	<p>1. ビジネスマッチング</p> <p>①産業振興フェア in いわた内「IT・IoT・AI 応援ツール展示コーナー」の設置 コロナの影響により本年度は展示会を中止、代わりにガイドブックにて企業紹介 開催日 令和2年11月～令和3年3月 掲載企業 全体185社・団体(IoTコーナー17社・団体)</p> <p>②講演会 「コロナ禍における IoT 化の勧め！」 講師 愛和システムソリューションズ㈱ 代表取締役 和栗正昭 氏 開催日・会場 令和2年11月12日 磐田グランドホテル アネックス1F 参加者 30社・31名</p> <p>《内容》</p> <p>◇IoT 実施の意義・実施例 ◇中小・零細企業でも導入できる IoT ツール・手法の紹介 ◇IoT 化される企業の将来</p> <p>事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭鉄工㈱⇒年間3億円コスト削減、設備投資なしで売上（生産数）の向上 ・久野金属工業㈱⇒1か月で11%生産性向上 ・中山水熱工業㈱（配管設備工事業）⇒故障の予知保全による顧客課題解決 <p>③富士山麓産官学生連携フォーラム内「IT・IoT・AI 応援ツール展示コーナー」の設置 開催日 令和3年3月10日 会場 プラザヴェルデ 多目的ホール(沼津市) 出展規模 6社・6小間出展(研究会1小間含む) 商談実績 ・見積依頼6件 ・後日訪問約束21件 ・名刺交換/商品説明等101件</p> <p>○静岡県 IoT 活用研究会、研究会の紹介・IoT 相談コーナー</p> <p>○明電商事㈱ フォーカリフト呼出しシステム／生産情報無線収集システム</p> <p>○R Fアンテナ㈱ プライベートLTEソリューション</p> <p>○アーモンド㈱ 次世代暗号化技術を用いた暗号化サービス</p> <p>○㈱ゼロワン 新型コロナウィルス対応 空間モニタリングシステム</p> <p>○㈱村松製作所 社内外における工程管理共有の見える化システム</p>

	<p>2. IoT 個別相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇令和2年11月12日 講演会「コロナ禍におけるIoT化の勧め！」でのIoT相談 ◇令和3年3月10日 富士山麓産官学連携フォーラム内「IT・IoT・AI応援ツール展示コーナー」でのIoT相談 ◇令和3年3月19日 IoT活用研究会「5Gセミナー&総会」内にてIoT相談 <ul style="list-style-type: none"> ・1社相談⇒ 材料管理・工程管理・技能の伝承 ◇IoT無料相談会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年2月16日、2月24日、3月2日、3月8日 相談件数5件 ・IoT活用における今後の製品づくりについて／総務事務作業のデータの共有化 ・夜間の設備稼働状況の確認／生産計画の自動化／加工状況の共有・見える化 ・在庫状況の確認 など
	<p>3. 令和2年度 静岡県IoT活用研究会 総会</p> <p>開催日・会場 令和3年3月19日 静岡県産業経済会館3F大会議室+WEB (Zoom)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇講演1 『情報通信行政の動向』 <ul style="list-style-type: none"> 総務省東海総合通信局 無線通信部 陸上課長 和田澄和 氏 5Gの特徴・展開／実証試験状況／活用イメージ ローカル5G／地域課題解決型ローカル5G当等の実証 ◇講演2 『製造業におけるローカル5Gの取組み』 <ul style="list-style-type: none"> NEC スマートインダストリー本部 マネージャー 渕上浩孝 NECが考えるスマートファクトリー／スマートファクトリーでのローカル5G活用 NEC DX Factory 共創スペースとローカル5Gラボによる共創活動 NEC ローカル5Gサービス概要 ◇静岡県IoT活用研究会活動報告 令和3年度活動計画、研究会会則等について
(4) 産学連携促進・活用技術向上活動事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静岡県畜産技術研究所との連携によるIoT導入事例 令和元年度より継続 牛の体重測定 AIアプリの開発支援について 開発可能企業を紹介し、令和2年度に経営革新計画認定。特許申請中。 2. 静岡県水産振興課との連携によるIoT導入事例 鱈の生簀の状態見える化について支援 →IoT専門家を派遣し、無人カメラによるスマホでの可視化を実現 3. ふじのくにICT人材育成事業 沼津高専連携ICT入門講座及び終了後のIoT導入個別支援 「今なぜAIが注目されているのか」 沼津高専電子制御工学科 教授 鄭 氏 令和2年9月18日(金) WEB開催 (Zoom)

(2) ふじのくにICT人材育成プロデューサー事業

AIやICTなどの先端技術の急速な発展に対応するため、ICT人材育成プロデューサーを配置し、ICT人材育成に関する施策の立案・調査や、ICTに関する企業の技術力向上を図った。

内容
(1) 配置人数 1名
(2) 活動日数 147日 (令和2年4月～令和3年3月末)
(3) 活動内容
<p>1. 中核的人材等を対象とした人材育成施策の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇静岡大学連携 データ分析講座（オンライン）の企画 ◇静岡県立大学連携講座の企画 ◇沼津高専連携講座の企画、運営
<p>2. 次世代人材育成施策の検討及び実施支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇次世代人材育成事業の全体像の整理 ◇プログラミングコンテストの実施支援 ◇プログラミングキャンプの実施支援
3. ICT人材育成事業に関する情報発信

- ・「ふじのくに ICT 人材育成事業 WEB サイト」を通して事業予定や実施結果等の情報発信を行った。
- ・JJPC が開催した「プログラミングコンテストの作り方」セミナーで、全国の自治体関係者向けに「ジュニアプロコン in 静岡」の取り組み内容について紹介した。

4. 「来年度以降の ICT 人材育成施策に関する調査

今年度実施する施策を踏まえて、来年度以降へ反映すべき点を分析。

◇来年度事業の企画支援

- ・静大連携データ分析講座、県立大学連携講座、沼津高専連携 AI 講座、ジュニアプロコン・キャンプ等の企画を支援。
- ・ICT 企業誘致施策の検討のための情報提供。

5. 県内外の ICT 関連動向の情報収集及びネットワーキング

◇製造業対象「ICT およびロボットの活用に関するアンケート調査」実施

- ・2018、2019 年度に実施したアンケート調査をベースに、11 月～12 月にアンケート調査を実施。
- ・約 800 社へアンケートを配布し、315 件の回答を回収。
- ・結果は「ふじのくに ICT 人材育成 WEB サイト」にて公開。

◇中小企業の AI・IoT 導入事例集のための情報収集

- ・IoT 活用研究会と連携し、「ふじのくに DX 事例集」を作成。
- ・事例集では、中小企業の AI・IoT 活用事例として下記の企業へヒアリング内容を掲載。

企業・組織名	取り組み	実施日
飯塚石油	石油残量確認 IoT	11/18
栗田産業	鋳造工程の見える化 IoT	11/26
ケーアイ工業株	板金加工現場の見える化 IoT	12/15
村松製作所	進捗管理、顧客コミュニケーションシステム	1/29
松野鋳造所	生産管理システム、技能継承のデジタル化	2/ 3

◇経済産業省・NEDO「AI Quest」事業への協力

◇県内外の企業・団体との意見交換、情報収集

(3) テレワーク等導入促進事業

県内中小企業のテレワーク等導入・活用を促進するため、情報提供・意見交換・交流の場として「テレワーク等導入研究会」の設置及び開催、県内中小企業のテレワーク等導入に関する現状や意識を調査するためのウェブアンケートの実施、学識経験者からの意見聴取を行い、その結果からテレワーク等導入時における課題等抽出及び導入時課題解決方法等を検討し、報告書を作成した。

①「テレワーク等導入研究会」の開催：2回（会場：県庁別館9階 特別第2会議室）

回数	開催日	開催内容
第1回	R3. 1.19	<ul style="list-style-type: none"> ・県の「テレワーク」に対する課題認識及び実施施策の報告 ・民間事業者からの事例報告 (株)Geolocation Technology 営業企画課 小泉氏 (株)TOKAI ホールディングス 総務本部 人事企画部長 沼野氏 (株)小林製作所 取締役事務部門長 兼 財務部長 渡邊氏 ・意見交換 「労務管理」、「情報セキュリティ」、「業務の切り分け」が主要課題になった。

第2回	R3. 3. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・県の「テレワーク」に対する課題認識及び実施施策の報告 ・第1回テレワーク等導入研究会の振り返り ・民間事業者からの事例報告 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">中村建設(株)</td><td style="width: 30%;">人事部人事教育グループ</td><td style="width: 40%;">水内氏</td></tr> <tr> <td>パルスティック工業(株)</td><td>管理部</td><td>工藤氏</td></tr> <tr> <td>丸尾興商(株)</td><td>専務取締役経理部長</td><td>豊田氏</td></tr> </table> ・意見交換 「支援施策」、「人事採用」が主要課題になった。 	中村建設(株)	人事部人事教育グループ	水内氏	パルスティック工業(株)	管理部	工藤氏	丸尾興商(株)	専務取締役経理部長	豊田氏
中村建設(株)	人事部人事教育グループ	水内氏									
パルスティック工業(株)	管理部	工藤氏									
丸尾興商(株)	専務取締役経理部長	豊田氏									

②ウェブアンケート 「静岡県中小企業のテレワーク実施に係る意識調査ウェブアンケート」の実施
静岡県内中小企業を対象として、現在の「テレワーク等」に対する実施状況や課題を調査し、テレワーク等を今後推進するにあたり、解決すべき課題の抽出を行った。

- ・実施期間 令和3年1月19日～令和3年2月15日
- ・実施方法 Web アンケート
- ・回答数 90件

③学識経験者に対する意見聴取

「テレワーク」に関する学識経験者を当事業のアドバイザーとして依頼し、「テレワーク等研究会」における議論内容と、「静岡県中小企業のテレワーク実施に係る意識調査ウェブアンケート」の結果を元にし、学術的観点からの課題等抽出、県内中小企業のテレワーク等導入時の課題、解決方法等を検討した。

- ・依頼者 常葉大学経営学部経営学科准教授 小豆川 裕子氏(日本テレワーク学会副会長)
- ・実施日 令和3年3月3日

④調査報告書の作成

「テレワーク等研究会」及び「Web アンケート」で得た成果を、広く県内中小企業がテレワーク導入時の参考として活用できるよう、報告書等として取りまとめた。

5 産業成長戦略推進事業 事業費 6,335,288 円

(1) 販売戦略構築支援事業

①販売戦略サポート委員会

販路開拓・拡大に課題を抱える県内中小企業9社に対し、外部専門家が具体的にアドバイスを行う委員会を6回開催した。

回	開催日	出席企業	製品等	アドバイザー出席数
1	R2. 8. 20	理研軽金属工業㈱ (静岡市)	アルミサイクルスタンド	5名
		㈱ケーイーコーポレーション (静岡市)	高鮮度冷蔵システム	
2	R2. 11. 24	㈱ケーアイ工業 (富士市)	マジックループ	5名
3	R3. 2. 19	㈱大洋アレスコ (焼津市)	OMA チラー	4名
4	R3. 2. 26	㈱中央パッケージング (静岡市)	マスクに貼る香りシール	4名
5	R3. 3. 9	㈱栄商会 (浜松市)	浮くランドセル	4名
		良知樹園(㈱) (焼津市)	庭木の里親サービス	

6	R3. 3. 10	東洋電産(株) (沼津市)	エンジン駆動による発電システム	4名
		株美浜工業 (浜松市)	ソリッドフリークロスによる新商品	

<令和元年度出席企業の支援実績>

企 業 名	成 績
(有)東洋音響 (静岡市)	アドバイザーの紹介から土佐組子(レクサス匠)とのコラボ商品開発に発展。次年度より販売開始。
(株)ペーパークラフト イトウ (浜松市)	首都圏への販路開拓に向け、中小機構の販路開拓コーディネート事業に採択され活動中。

②技術ニーズ説明会

ア. 大阪ガスグループ (開催日 : R2. 9. 16、会場 : 静岡県産業経済会館)

出席者数	28社、31名
説明会後の提案	2社2提案をエントリー。うち1社1提案について面談実施。 【提案企業及び提案内容】 ○株大洋アレスコ 業務用冷凍・冷蔵設備の遠隔運転連動システムの提案 ○株アドテクニカ 見守り・ホームセキュリティに関する新サービスの提案

イ. ハイアールグループ (開催日 : R3. 2. 25、会場 : 静岡県産業経済会館)

出席者数	19社 22名
説明会後の提案	【提案企業及び提案内容】 ○有アール・シー ウメハラ 防カビ剤入りの撥水性のコーティング剤を塗布して防カビ抗菌性と汚れ防止の提案

(2) 地域経済牽引企業創出支援事業

地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、高い経済的波及効果を及ぼす「地域経済牽引事業計画」の作成及び承認を支援するため、県内中小企業者(3社)に対し、専門家(中小企業診断士)の派遣を実施した。その他、財団が直接、地域未来投資促進法に係る確認申請を含めた作成支援(3社)を行った。

- 専門家1名×10回 (派遣先数3社・1/3派遣先負担)

<派遣先>

NO	企業名	所在地
1	臼井国際産業(株)	長泉町
2	株石川工具研磨製作所	沼津市
3	株エイディーディー	沼津市

<財団による直接支援先>

NO	企業名	所在地
1	株エコム	浜松市
2	株光素	磐田市
3	進桜電機(株)	長泉町

6 事業承継支援事業

事業費 25,324,799円

(1) プッシュ型事業承継支援高度化事業

中小企業庁委託事業「令和元年度補正予算プッシュ型事業承継支援高度化事業」の地域事務局を静岡商工会議所と共同で受託し、静岡県、市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークを運営し、事業承継診断・事業承継計画策定支援の促進のほか、親族内承継及び従業員等承継に関する支援ニーズに対して、承継コーディネーター、ブロックコーディネーター、専門家等が連携して支援を行った。

①ネットワーク構成員

種別	県市町	金融機関	商工会議所・商工会	支援機関	士業団体	その他	合計
機関数	36 機関	19 機関	17 機関	9 機関	6 機関	3 機関	90 機関

②事業承継診断・事業承継計画策定支援の促進

事業承継診断実施件数	6,547 件 (3月末) (日本政策金融公庫分除く)
事業承継計画策定支援件数	971 件 (3月末)

③相談会の開催

開催日数	延 481 日
会 場	各商工会議所・商工会
相 談 員	ブロックコーディネーター
相談件数	357 件 (相談回数: 634 回)
成約件数	298 件 (事業承継計画策定: 190 件、代表者変更: 86 件、株式移転: 13 件、その他: 9 件)

④専門家派遣

中小企業者等から事業承継計画策定の支援要請に応じて専門家を派遣し、助言を行った。

- ・派遣企業数 2社
- ・派遣回数 4回

⑤ベンチャー型事業承継セミナーの開催

事業承継を契機に新規事業、業態変換、新市場参入など新たな領域に挑戦するベンチャー型事業承継を促進するため、セミナーを開催した。

名 称	ベンチャー型事業承継支援トークイベント「アツギこそイノベーターであれ」
開 催 日	R2. 11. 7
会 場	静岡駅前会議室 L INK (オンライン配信)
内 容	<p>(1) 開会あいさつ (公財) 静岡県産業振興財団 承継コーディネーター 山崎眞嗣</p> <p>(2) イベント趣旨説明 (一社) ベンチャー型事業承継 代表理事 山野千枝 氏</p> <p>(3) トークセッション○ベンチャー型事業承継とは ・ファシリテーター (一社) ベンチャー型事業承継 代表理事 山野千枝 氏 ・パネリスト 鳥居食品㈱ 代表取締役 鳥居大資 氏 シーラック㈱ 代表取締役 望月洋平 氏 大阪製罐㈱ 代表取締役 清水雄一郎 氏 (オンライン出演)</p>
参加人数	20 名
■参加者評価	大変満足 14%、満足 43%、普通 43%

⑥全体会議の開催

開催日	R3. 2. 19
会 場	クーポール会館 (オンライン配信併用)
内 容	<p>(1) 今年度の支援事業の取組について ①静岡県プッシュ型事業承継支援高度化事業 承継コーディネーター 山崎眞嗣 ②静岡県事業引継ぎ支援センター 統括責任者 清水至亮 氏</p> <p>(2) 新センターの体制・活動内容について 静岡県事業承継・事業引継ぎ支援センター 統括責任者 (予定) 清水至亮 氏</p> <p>(3) 静岡県の支援事業の取組について 静岡県経済産業部 経営支援課長 影山敦彦 氏</p> <p>(4) 事例紹介 「私の事業承継について」 サツマ電気㈱ 代表取締役 梶川久美子 氏</p>
参加人数	126 名 (会場参加: 34 名、オンライン参加: 92 名)

(2) 事業承継推進事業

商工会議所・商工会等による事業承継計画策定支援を促進するため、策定件数に応じ補助金を交付した。

- ・計画策定件数 170 件

7 高度化資金貸付診断等事業

事業費 18,875,962 円

高度化事業は、中小企業者が共同して経営基盤の強化を図るために工場団地や共同店舗等を建設する事業に対して、県が長期かつ低利な資金を貸し付けるとともに、貸付前、貸付後の経営診断・助言等の実施により、支援する制度である。

静岡県からの委託により、経営診断・助言及び財務分析を実施した。

○ 高度化資金貸付実績

・令和2年度高度化資金貸付条件（通常）

貸付期間：20年間（3年間据置）

貸付利率：0.35%

貸付割合：貸付対象経費の80%以内

貸付先：事業協同組合、街づくり会社（三セク）等

・令和2年度高度化資金貸付額（県商工金融課所管）： 1,529千円（R3.1.31現在）

・令和2年度末高度化資金貸付残高（県商工金融課所管）： 10,938,390千円（R3.1.31現在）

（1）高度化資金貸付等に係る診断実績

診断区分	内容	計画件数	実施件数
新規貸付 診断	・新規貸付の際の事業計画の妥当性判断や助言を行うための診断	8	5
条件変更 診断	・既往貸付金の償還猶予に伴う経営改善計画の妥当性判断や助言を行うための診断	6	6
フォローアップ 診断	・事後助言（フォローアップ）	15	16
対象診断	・高度化事業への参加を希望する企業等に対する個別経営診断	3	3
合 計		32	30

（2）財務分析の実績

区分	計画件数	実施件数	内容
財務分析	50	51	・高度化団地等へ進出している企業の財務分析

（3）高度化事業調整会議

受託業務を円滑かつ適正に遂行するため、関係機関（県経営支援課、商工金融課、静岡県中小企業団体中央会）と診断案件に係る情報交換を行った。（開催回数：3回）

8 経営革新計画支援事業

事業費 29,306,227 円

県から受託して、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認申請等に関する相談・受付及び調査等を行った。さらに県内中小企業の経営革新の促進を図るため、地域中小企業支援センター等と連携して普及・啓発や相談助言等を行なうとともに経営革新計画事例集を作成した。

項目	実施内容	件数等
出張、窓口等個別相談の状況	相談件数	344件（335件）

項目	実施内容	件数等
専門家派遣の状況	派遣件数	26社 128件 (26社 107件)
経営革新計画申請の状況	申請受付件数	200件 (127件)
経営革新計画承認の状況	承認件数	新規200件 (127件)、変更1件 (1件)
地域中小企業支援センター等巡回指導の状況	巡回回数	112回 (100回)
経営革新計画事例集の作成	作成部数	3,000部 (3,000部)
フォローアップ調査の報告状況 (財団分)	報告件数	70件 (109件)
フォローアップ調査の報告状況 (全体)	報告件数	319件 (347件)
実施状況の報告状況 (財団分)	報告件数	108件 (127件)
実施状況の報告状況 (全体)	報告件数	474件 (483件)
補助金に係る申請書類の受付状況	作成支援、受付件数	新商品77件(59件)、販路80件(71件)、生産性5件(7件)

(注) () 内はR元年度の件数等

○経営革新計画事例集掲載企業(抜粋)

<p>株式会社大東製作所(精密機械製造加工) 【経営革新計画のテーマ】 湿気硬化ウレタン型接着剤を使用できる新ロールコーティングを 使っての多様な化粧板製品の製造・販売</p> <p>精密機械加工業者であったが、代表者子息が今までの経験を 基に化粧板製造事業を新たに起ち上げ。従来、木質の板に ラミネートを施した化粧板が主流であった市場で当社は、自社 開発の製造設備、独自の製造方法を用いることで新たな商品と なるマグネット化粧板、不燃化粧板、鏡面化粧板を開発。 また材質にとらわれない化粧板は多用途に使用でき、多くの 大手建材メーカー・ハウスメーカーから引き合いがある。 経営革新事業が今では既存事業と並ぶ当社の柱となる事業に まで成長。今後も顧客のニーズに合わせた商品つくりを目指す。</p>	 マグネット化粧板
<p>株式会社オカムラ(機械器具小売業) 【経営革新計画のテーマ】 PC サーバー無償レンタルによるシステムサポートの ワンストップサービスの展開</p> <p>事務機器メンテナンス・PC 修理・システム化開発等ができる よう人材育成に取り組んでおり、情報セキュリティに係る国際 規格認証を取得している。こうした事業活動を行う中で地域 小規模事業者から情報技術に係る様々な支援要請を受けて おり、本計画ではこうした支援要請を踏まえ、地域小規模 事業者をターゲットにPC サーバーを無償レンタルしてデータの バックアップや共有化、PC トラブルのサポート及び情報 セキュリティに係るアドバイス等をワンストップで提供する サービス展開を図っている。</p>	<p>お客様の抱える課題をサポートする 弊社独自のシステムそれが、</p> <p> OBS OKAMURA BACKUP SERVICE</p> <p>PCサーバー無償レンタル</p>

より、小規模企業者等の経営基盤の強化促進を目的に事業を実施していたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を中止したため、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

(1) 正常債権

	令和元年度末残		令和2年度末残	
	件数	金額	件数	金額
割賦	1 件	1,323 千円	1 件	394 千円
リース	1 件	2,109 千円	0 件	0 千円
合計	2 件	3,432 千円	1 件	394 千円

(2) 延納・滞納債権（未収額）

	令和元年度末残		令和2年度末残	
	件数	金額	件数	金額
割賦	2 件	18,335 千円	2 件	17,770 千円
リース	1 件	4,757 千円	0 件	0 千円
合計	3 件	23,092 千円	2 件	17,770 千円

※割賦は設備相当額、リースはリース料を記載

(3) 損害賠償債権（契約解除案件）

項目	令和元年度末不良債権残	令和2年度回収等				令和2年度末不良債権残
		発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	割賦	4 件	0 件	0 件	(1) 件	2 件
	リース	3 件	1 件	0 件	(1) 件	3 件
	合計	7 件	1 件	0 件	(2) 件	5 件
金額	割賦	38,969 千円	0 千円	0 千円	2,400 千円	15,489 千円
	リース	21,735 千円	4,757 千円	0 千円	330 千円	6,142 千円
	合計	60,704 千円	4,757 千円	0 千円	2,730 千円	27,222 千円

※リース分発生：期中に「リース料未収規定損害金」への振替を行ったことによる発生。

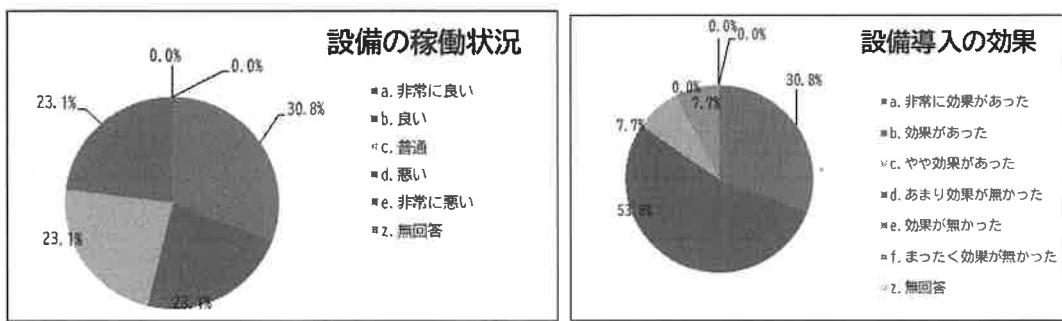
(4) 割賦未収金債権（契約解除案件）

項目	令和元年度末不良債権残	令和2年度回収等				令和2年度末不良債権残
		発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	3 件	0 件	0 件	(3) 件	0 件	3 件
金額	464 千円	0 千円	0 千円	240 千円	0 千円	224 千円

(5) 設備貸与制度・設備資金貸付制度の事後調査

平成 19 年度～平成 26 年度に設備貸与制度・設備資金貸付制度を利用した企業のうち、正常償還先かつ令和 3 年 3 月末に残債のある 16 企業について、書面による導入設備利用状況調査を実施した。

調査の結果（回答率 81.2%）、設備の稼働状況が「非常に良い」「良い」と回答した企業は 53.9% と、全回答数の過半数を超えていた。また、導入効果として「非常に効果があった」「効果があった」「やや効果があった」と回答した企業は 92.3% で、事業目的の効果が得られている状況が見受けられた。



10 中小企業振興貸与事業

事業費 11,890 円

設備貸与事業の補完として、中規模中小企業者等の経営基盤の強化を促進すること目的として実施していたが、平成 15 年度より新規の貸与を中止したため、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

(1) 損害賠償債権（契約解除案件）

項目	令和元年度末 不良債権残	令和2年度回収等				令和2年度末 不良債権残
		発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	1 件	0 件	0 件	(1) 件	0 件	1 件
金額	2,879 千円	0 千円	0 千円	840 千円	0 千円	2,039 千円

11 設備資金貸付事業

事業費 4,854,588 円

小規模企業者等(原則として従業員 20 人以下)及び創業者を対象として、設備導入に係る資金の貸付により、小規模企業者等の経営基盤の強化促進を目的に事業を実施していたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を中止したため、既貸付先のフォローと債権回収を行った。

(1) 正常債権（償還金）

	令和元年度末残		令和2年度末残	
	件数	金額	件数	金額
資金貸付	49 件	110,032 千円	19 件	33,246 千円

(2) 延納・滞納債権（未収額）

	令和元年度末残		令和2年度末残	
	件数	金額	件数	金額
資金貸付	0 件	0 千円	0 件	0 千円

(3) 損害賠償債権（一括請求案件）

項目	令和元年度末 不良債権残	令和2年度回収等				令和2年度末 不良債権残
		発生	回収完済	一部回収	損失補償	
件数	1 件	0 件	0 件	(1) 件	1 件	0 件
金額	20,228 千円	0 千円	0 千円	200 千円	20,028 千円	0 千円

公3 科学技術研究開発支援

事業費 157,197千円(212,021千円)

県内企業等が行う新技術・新製品開発等への支援、企業の技術ニーズと大学等の研究シーズのマッチングや産学官交流促進等、県内産業の科学技術研究開発を支援する事業を行った。

1 産学官技術交流促進事業

事業費 31,013,306 円

技術コーディネーター(3名)が、大学、静岡県工業技術研究所、金融機関等と連携し、企業の新技術・新製品開発に係る技術ニーズと大学等における研究シーズや大手企業の技術シーズのマッチングを図るとともに、企業からの技術相談にも広く対応した。また、事業プロデューサーを配置し、シーズ・ニーズの掘り起こしからマッチング、その後の事業化に向け、企業の技術やニーズを活かした製品・サービスを事業化の観点で高め、広く流通させるための支援をした。

(1) 技術相談、マッチング支援等

項目	実績
新成長産業分野の助成採択に対する支援	51 件
中小企業の技術課題等に対する相談対応	272 件
コーディネーターのスキルアップ事業	<p>コーディネーター 1名 令和2年度 技術開発支援機関研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催 国立研究開発法人科学技術振興機構 ・開催日 令和2年9月2日 ・会場 ZOOM 開催 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> 講義1 産学官連携とのかかわり方と基本姿勢 講師 立命館大学事務部長 野口義文氏 講義2 IRを中心とした研究力強化に向けた取り組み 講師 東京工業大学 特任准教授 磯部靖博氏 講義3 産学官連携コーディネート活動と研究開発マネジメント 講師 HITS プロモータ合同会社 代表社員 須佐太樹氏
<知的財産活用研究会> 大手企業知的財産マッチング事業	<p>○目的 大学、研究機関、大手企業が保有する知的財産等の技術シーズの県内中小企業への利用促進と新事業の創出を図る</p> <p>○会員数 175 社 (R3.3.31 現在)</p> <p>○大手企業等知的財産マッチング会 (大阪ガス株式会社) 大阪ガスが提供する開放特許情報を、財団 WEB サイトを通じて提供。随時、大阪ガスとの個別相談会（オンライン）を実施</p> <p>開催期間：令和2年10月23日～12月25日 ※財団 WEB サイトにて期間開催 個別相談：1件 アンヴァール㈱（浜松市）</p> <p>○大手企業等知的財産マッチング会 (本田技研工業株式会社) <静岡県発明協会と共に> ・技術シーズ説明会 40名参加 ・個別相談会 10件 (7社) 技術シーズ説明会のみ参加の場合は、オンラインにて聴講 個別相談会への参加企業のみ来場</p> <p>○大手企業等知的財産マッチング会 (株式会社キャンパスクリエイト) 知的財産活用研究会会員 175 名に対し、キャンパスクリエイトが保有する開放特許情報（主に大学）を提供。 ・個別相談：0件</p>

項目	実績
事業プロデュース事業	<p>事業化事例：4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小石安之助商店（焼津市） 「サバ節造りに活用された水と米ぬかと一緒に発酵させた、乳酸菌群に富んだ米ぬか発酵食品「愛腸習慣」の事業化」 ・有限会社エイチ・エスシー（沼津市） 「子供がシートベルトを勝手に外さないようにするための「Belt Lock」の事業化」 ・株式会社イワモト（富士市） 「マスク空間を広げる、「マスクフレーム」の事業化」 ・株式会社美浜工業（浜松市） 「女性用パンプス向けインソール「ふりそ～る」の事業化」※大学連携による知財活用アイディアコンテスト案件
大学連携による知的活用アイデアコンテスト	<p>※本年度については、コロナ感染症対策を考慮し大会自体は中止。</p> <p>※昨年度大会の最優秀賞のアイディア（静岡県立大学）について、商品化に向けた支援を実施。</p> <p>日時：令和2年9月11日 場所：あざれあ503会議室 内容：女性向けパンプス用インソール「ふりそ～る」商品化に向けた打ち合わせ（1回目） 参加者：静岡県立大学岩崎ゼミ「チーム柿ピー」、㈱美浜工業、静清信用金庫・産業財団</p> <p>日時：令和2年11月4日 会場：静清信用金庫 本部 内容：女性向けパンプス用インソール「ふりそ～る」商品化に向けた打ち合わせ（2回目） 参加者：静岡県立大学岩崎ゼミ「チーム柿ピー」、㈱美浜工業、静清信用金庫・産業財団</p> <p>日時：令和2年12月21日 会場：WEBによる開催 内容：女性向けパンプス用インソール「ふりそ～る」商品化に向けた打ち合わせ（3回目） 参加者：㈱美浜工業、㈱共立アイコム、静清信用金庫・産業財団</p> <p>日時：令和3年3月15日 会場：静清信用金庫 本部 内容：「ふりそ～る」商品発表会（静清信用金庫と共催） 令和元年11月に実施した「第5回知財アイディアプレゼン大会」にて最優秀賞を獲得した静岡県立大学「チーム柿ピー」のアイディアを、知財提供元である（株）美浜工業（浜松市）が商品化。報道・メディア関係者に向けた発表会を実施（静岡新聞、日本経済新聞、中日新聞他）。</p>

（2）外国出願支援事業

中小企業等の戦略的な外国出願を促進するため、基礎となる出願（特許、実用新案、意匠、商標）と同内容の外国出願にかかる経費の一部を補助した。

企業名		種別	交付確定額（円）
1	株式会社磯駒海苔	商標	279,000
2	セイリン株式会社	商標	216,000
3	株式会社長谷川鉄工所	特許	373,000
4	カメヤ食品株式会社	商標	216,000
5	株式会社エコム	商標	505,000
6	パイフォトニクス株式会社	商標	240,000
7	株式会社ヨーヨー化成	商標	600,000

企業名		種別	交付確定額（円）
8	セイリン株式会社	特許	1,367,000
9	サクラ工業株式会社	特許	1,132,000
10	ロボセンサー技研株式会社	特許	1,228,000
合 計			6,156,000 円

2 地域ビジネス応援事業 事業費 12,205,580千円

(1) SDGs貢献企業支援事業

静岡県内中小企業者及び特定非営利活動法人が取り組むSDGs(持続可能な開発目標)達成に向け、地域資源の活用を始めとする新商品や新サービスの開発、販路開拓等を積極的に取り組む事業に対して、経費の一部を補助した。

申請者	所在地	事業概要	確定額
株大井川茶園	焼津市	SDGsに対応した緑茶流通のセレンディピティ事業	1,700 千円
春日製紙工業株	富士市	紙産業の活性化ならびに紙ストローのさらなる普及	2,000 千円
加和太建設株	三島市	ビール粕(麦芽粕)の活用による循環サイクル形成と地域経済活性化	117 千円
株季咲亭	静岡市	放置竹林の若竹を漬物として加工	2,000 千円
富士護謹産業株	静岡市	県内初の植物工場向けウレタン製品製造・販売について	2,000 千円
良知樹園株	焼津市	『庭木の里親サービス』の顧客接点強化と移植作業の効率化	1,750 千円
合 計			9,567 千円

(2) 産業財団の事業を利用した県内中小企業者のステップアップ支援（販売戦略構築支援型）

申請者	所在地	事業概要	確定額
株村田工業	静岡市	液体サイクロン販路拡大のためのWebサイトリニューアルについて	500 千円
株信建工業	静岡市	ドッグ関連事業を伝える新たな英語版ホームページの作成による海外市場調査	499 千円
合 計			999 千円

(3) 静岡県女性経営者団体支援事業

静岡県内企業の女性経営者・女性管理者が活躍できる企業を支援する静岡県女性経営者団体「A・NE・GO」の活動を、同団体の事務局として支援した。

経済産業省が行う標記事業の事業管理機関として、技術開発を目指すものづくり中小企業が、当該支援策等を通じて技術の高度化を果たし、新たな需要を切り開くため、研究開発の運営管理等の支援を行った。

①メガロ化工株式会社（焼津市）

テ一マ：「次世代コミュニケーションランプの微細高精度化に対応する金型加工技術の確立」
(3年目/3年間)

<これまでの成果>

最終年度に当たり、前年度までの研究開発成果をベースに、慶應大学の柿沼教授が開発しているセンサレスでの高精度加工のための制御技術をメガロ化工㈱に設置した大型精密加工装置に実装し、切削実験を重ね、求める加工精度を得るに必要となる切削条件などを決めることができた。また、工技研と共に加工精度を正確に計測するために必要な加工面を精密に転写する手法の開発ができた。研究開発推進委員会の開催を通じ、研究者間、川下企業等との情報共有を図りながら開発を進め最終評価でも高い評価を得ることができた。

②株式会社クメタ製作所（吉田町）

テ一マ：「大容積大気圧プラズマ技術を活用した低温食材殺菌機の開発」
(2年目/3年間)

<これまでの成果>

殺菌機能を有するプラズマ放電電極について、対象物の高さに合わせて電極を可動させる装置を完成させた。アルゴンガスと窒素ガスの混合ガスを吹き付けることで電極間隔 25mm での安定放電を達成するとともに、プラズマ発生に伴うオゾン発生濃度 0.1ppm 以下、対象温度 50°C 以下、装置の目標消費電力 1kW 以下を実現した。また、殺菌実験の結果、照射 60 秒で一般生菌数 2 枝、大腸菌生存数 3 枝以上の殺菌特性を確認した。環境に優しく無害な大気圧プラズマ低温殺菌技術の実現が可能となり、実用化に必要とされる殺菌特性および処理能力が得られた。これらの成果により技術を実用化に近づけることができた。

③アドバンスコンポジット株式会社（富士市）

テ一マ：「エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鋳造技術の開発」
(2年目/3年間)

<これまでの成果>

目的とするアルミニウム複合材料によるエアコン用スクロール翼の製作に必要なセラミック成形体の作成技術を産総研と共に複数試す中から実用に耐えうる方法を見出すことができ、工技研においてその強度を測定した。また、その成形体の中にアルミが充填していく様子を大同大学がシミュレーションすることで現象を視覚的にとらえることができるようになり、新たな成形技術の開発につながった。また、用いたアルミ複合材料に特有の温度による相変化の現象を確認しそのメカニズムの解析と対策への道筋をつけることができた。

④株式会社ゾディアック（浜松市）

テ一マ：「航空宇宙分野セラミックマトリックス複合材料(CMC)の3次元配向分析技術開発による検査技術の確立」
(2年目/3年間)

<これまでの成果>

CMC 成形品内部における強化繊維の配向性を観察する技術である CT 検査において、AI を用いた画像補正処理技術を開発し、画質を改善することができた。結果について川下企業で検証を行い、実用性能を持つことを確認した。また、3 次元形状部品を計測に最適な姿勢で固定できる安価な固定治具を自動作成する試作ソフトを完成し、川下企業における実証試験を完了した。技術の完成に向けて着実に研究開発を進めることができた。

公4 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト

事業費 169,675 千円 (146,704 千円)

県で策定したフーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト第1次戦略計画に基づき、プロジェクトを推進する中核機関として、「超高齢社会を踏まえた健康寿命の延伸」と「経済の持続的発展を目指した新しいビジネスモデルの創出」に対応するため、食を中心とするヘルスケアの推進するとともに、異分野の融合によるイノベーションの創出を図った。

1 フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業

事業費 87,097,669 円

参画市連携セミナーの開催、各種展示会等への出展及び事業化コーディネーター等によるビジネスマッチングを推進することにより、産学官連携による機能性食品の開発等を促進し、食品・化成品関連産業の振興と集積を図った。

(1) 参画市連携セミナーの開催

参画市(静岡市・焼津市・藤枝市)と連携して、商談会とセミナーを実施した。

開催日	開催地	参加人数	内容
R2. 10. 28	焼津市	33 社	食品バイヤーとの個別商談会 in 焼津
R3. 1. 27	藤枝市	29 社	食品バイヤーとの個別商談会 in 藤枝
R3. 2. 25	静岡市	31 社	食品バイヤーとの個別商談会 in 静岡
R3. 2. 3	静岡市	38 人	WEB セミナー コロナ禍での県内消費者動向及び食品業界における危機管理戦略(B C P)について

(2) 各種展示会等への出展

プロジェクトの情報発信と食品・化成品関連企業の販路開拓のため、県内外の展示会への出展支援を実施した。

	展示会等名	開催期日	会場	出展支援企業
1	化粧品開発展 大阪	R2. 9. 9~11	インテックス大阪 (大阪市)	①(株)キヨーコーポレーション ②(株)ビートセンシング ③日研フード(株)
2	コスメマルシェ in 新静岡セノバ	R2. 9. 26 ~27	新静岡セノバ (静岡市)	①(株)キヨーコーポレーション ②ホーミーコスメティクス(株) ③(株)オーガニック ④(株)シーク
3	第 10 回産業振興フェア in いわた	令和 2 年 11 月 ~3 年 3 月	Web	①(株)白形傳四郎商店 ②(株)はの字食品 ③(株)マルハン
4	化粧品開発展 東京	R2. 1. 13 ~15	東京ビックサイト (東京都江東区)	①(株)キヨーコーポレーション ②(株)ビートセンシング ③(株)ミズ・バラエティー ④(株)白形傳伝四郎商店 ⑤(株)シーク ⑥日研フード(株)
5	ふじのくに総合食品開発展	R3. 2. 9 ~ 3. 8	Web	①(株)心粹 ②(株)山佐食品 ③TEA SEVEN 協同組合

<令和元年度事業の主な成果>

事業名	年度	出展者数	調査時点	来場者数	商談件数	成約件数	成約金額
スーパー・マーケットトレードショー	元	15 社	1 年後	80,428 名	190 件	49 件	11,648 千円

化粧品開発展 2020 東京	元	7社	1年後	28,670名	44件	4件	5,760千円
-------------------	---	----	-----	---------	-----	----	---------

(3) コーディネーター、アドバイザーによるビジネスマッチングの推進

専門性に特化したアドバイザーや食品・化成品・健康書分野に精通したコーディネーターにより、製品開発から販路開拓にわたる様々な相談に対応した。

商品開発	工程改善	販路促進	情報提供	機能性支援	助成金支援	その他	計
126件	5件	533件	1,333件	134件	125件	386社	2,642件

<サイエンス、販路開拓・拡大アドバイザー関連>

分野	内容
機能性素材成分分析及び活用	GABA 計81検体 → DB化
産官学民金、各種クラスターとの連携促進	AOI、MaOI、静岡市海洋産業クラスター協議会支援施策の適切な審査への協力
成果品等販売支援	延べ153件 22社89品目 水産加工品、お菓子、スイーツ、飲料ほか

(4) 機能性表示制度支援プラットフォーム利用状況 (H27年度から累計)

相談件数	ヒト介入試験実施件数	システムティックレビュー実施件数
131(975)件	2(10)件	5(29)件

(5) 化成品関連産業への支援

ア 化粧品等研究開発推進事業助成金

申請者	所在地	事業概要	交付確定額
日研フード㈱	袋井市	静岡県産農作物を活用した化粧品素材エキスの開発および商品展開	4,264千円
㈱Dr. シーバ	焼津市	エラスチンの改良及び美容液ジェルの官能評価	1,040千円
㈱旭紙工所	富士宮市	静岡県産の“食べられる素材”を使用した唇用化粧品の開発	663千円

イ 化粧品開発展 大阪 (第1回)・東京 (第11回) (再掲)

開催場所	インテックス大阪 (大阪市住之江区南港北1-5-102)	東京ビックサイト (東京都江東区有明3-11-1)
開催日	令和2年9月9日～11日	令和3年1月13日～15日
開催目的	化粧品・化粧品素材・機械メーカーの販路開拓	
来場者数	延べ8,314名	延べ10,648名
参加企業	3社 (㈱キコーコーポレーション、㈱ビートセンシング、日研フード㈱)	6社 (日研フード㈱、㈱白形傳四郎商店、㈱キコーコーポレーション、㈱ビートセンシング、㈱ミズ・バラエティー、㈱シーク)

ウ しづおかコスメマルシェ in 新静岡セノバ (再掲)

開催場所	新静岡セノバ(静岡市葵区追手町1-1-1)		
開催日	令和2年9月26日～27日		
開催目的	一般消費者に対する静岡県産の化粧品PRと即売		
参加企業	4社 (㈱キコーコーポレーション、ホーミーコスメティックス㈱、㈱オーガニック、㈱シーク)		
来場者数	延べ216名	販売実績	423,420円/4社計

エ 化粧品海外市場調査セミナー&相談会

開催場所	グランディエール ブケトーカイ(静岡市葵区紺屋町17-1)		
開催日	令和3年2月16日		
開催目的	海外市場の拡大を目指す企業向けに海外市場情報を紹介		

講演内容	①『オンライン海外展示会「Alibaba.com」を活用した海外販路について』 ②『中国国営放送CCTVを活用した中国でのプランディング及び販路開拓について』
参加者数	26名(オンライン参加者含む)
個別相談会	2社

オ コスメティックフォーラム静岡 2020

開催場所	ホテルグランヒルズ静岡(静岡市駿河区南町18-1)
開催日	令和2年10月9日
開催目的	県内化粧品産業の更なる振興を図るため、専門家を招いて最新の化粧品産業の動向を紹介
講演内容	①『「肌と海にやさしい」日焼け止めの海外戦略 SDGs視点の製品開発とプロモーションについて』 ②『化粧品業界の現状とリポソーム美容液の開発～27年間売れ続けている超ロングセラーアイテム開発の秘密～』
参加者数	58名

カ 化粧品スキルアップセミナー（Webセミナー）

開催場所	静岡県産業経済会館(静岡市葵区追手町44-1)
開催日	令和3年2月5日
開催目的	化粧品産業に携わる方向けの人材育成
内容	化粧品海外市場の現状、中国輸出へ向けた規制・留意点、薬機法改正及び指導事例
参加者数	178名

2 高付加価値型食品等開発推進事業

事業費 9,217,000円

機能性食品などの高付加価値型食品等の事業化・製品化を目指す県内の食品関連企業等に対し、試作品開発・実証試験等への支援に取り組んだ。

(1) 食品等開発助成事業

申請者	所在地	事業概要	交付確定額
株増田採種場	磐田市	アブラナ科野菜の機能性表示食品開発と新たな種子販売ビジネスの展開(機能性食品等)	970千円
山梨罐詰株	静岡市	ロカボを食感で味わう新感覚カップ入り食品の開発(機能性食品等)	1,230千円
株はの字食品	焼津市	介護・健康食分野に寄与する付加価値の高い魚肉練り製品の開発(機能性食品等)	1,310千円
静岡冷蔵倉庫株	静岡市	焙煎温度別ティーシロップの開発(機能性食品等)	176千円
シーラック株	焼津市	新輪転式全自動海苔抜型機械の開発(食品加工機械)	2,000千円
HaMAKEN株	静岡市	チーズ製造工程で出るホエイを利用したチーズ製造機の開発と販売(食品加工機械)	1,395千円
合計			7,081千円

<これまでの成果>

助成金名	助成件数(累計)	調査対象	商品化件数	販売金額
食品等開発助成金	H23～R2(76社)	H29～R元	11件	5,305,166千円

(2) 食品等開発研究会の開催

○事業概要(8部会延16社 助成金交付確定額1,351千円)

研究会	部会(開発テーマ)	参加企業	製品名
育成型企業	トマトと魚の健康部会	カゴメ(株)(静岡市) 三洋食品(株)(焼津市)	ドレッシングツナ レモントマト(仮) ドレッシングツナ ガーリック風(仮) トマト鮓(仮)
	高リコピン部会	カゴメ(株)(静岡市) (株)フーズ・ユー(吉田町)	ミネストローネ トマトソースハンバーグ チキンドリア シーフードパスタ 静岡県産しらすとツナのピザ
	浜納豆調味料部会	ヤマヤ醤油(有)(浜松市) おおた食品(株)(浜松市)	発酵旨味 MAYO
	浜納豆チーズ部会	ヤマヤ醤油(有)(浜松市) うしづまチーズ工場 & ChestaHouse(静岡市)	発酵大豆コレッタチーズ
	静岡有機青汁部会	(株)増田採種場(磐田市) 丸山製茶(株)(掛川市)	静岡県産有機抹茶入り旬青汁
	ケールで元気に!!部会	(株)増田採種場(磐田市) (有)春華堂(浜松市)	ケールクッキー ケールパイ ケールマドレーヌ ケールデニッシュ ケールキューブ(餡子) ケールキューブ(チーズ)
機能性素材活用	GABA部会	(株)森島農園(浜松市) (株)アイファーム(浜松市) ベルファーム(株)(菊川市)	機能性素材(GABA)を活用した商品開発
	茶カテキン部会	丸山製茶(株)(掛川市) (株)荒畑園(牧之原市) 本山製茶(株)(静岡市) 丸福製茶(株)(静岡市)	機能性素材(茶カテキン)を活用した商品開発

<これまでの成果>

助成金名	助成件数(累計)	調査対象	商品化件数	販売金額
食品等開発研究会	H23～R2 (54 件)	H29～R 元	17 件	1,197,848 千円

3 産業人材育成事業

事業費 2,194,000 円

総合食品学講座を実施し、食品関連企業における製品開発の中核的人材育成に取り組んだ。

開催日	内容	会場	受講者数
R2.9.3～11.5 全10日間	A: 食品の加工技術 (10講座) B: 食品の安心・安全技術 (8講座) C: マーケティング・販売戦略 (6講座) D: 実習のビデオ講習 (5講座) 計 29 講座	静岡県立大学 静岡県工業技術研究所	一括受講者 : 30 名 個別受講者 : 15 名 個人修了認定 : 24 名 事業者修了認定 : 2 社

本講座総合評価 (一括受講生対象: 回収人数 21 人)

満足	16 人	76.2%
やや満足	5 人	23.8%

受講者の感想

- ・自社ブランド製品を検討中のため、マーケティングやブランドづくりの講義が大変参考になった。
- ・これまで食品素材や表示法等の講義ばかり受けていたが、今回、環境問題や企業責任、介護食品等、企業全体にかかわる問題や将来的にかかわる可能性のある内容を広く知ることができ大変参考になった。
- ・コロナの影響で実習系の講義が全て座学になってしまったことは残念だった。
- ・コロナのため同じ年代の同業者に会う機会が一切なかったため良い刺激になった。

(1) オープンイノベーション・プラットフォームの構築

産学官金の交流を通じたオープンイノベーションを促進するため、「健康食コーディネーター」を配置するとともに、県・県立大学と連携した「健康・食イノベーションフォーラム」等を実施した。

○健康・食イノベーションフォーラム

開催場所	しづぎんホールユーフォニア（静岡市葵区追手町1-13）
開催日	令和3年1月28日
開催目的	健康食イノベーション推進事業の活動報告と「健康・食フォーラム」の会員募集
参加者数	87名

○健康食イノベーション地域セミナー

開催場所	三島商工会議所TMOホール (三島市一番町2-29)	アクトシティ浜松コングレスセンター (浜松市中区板屋町111-1)
開催日	令和2年11月25日	令和2年11月27日
開催目的	健康食イノベーション推進事業の県内全域への紹介と活動報告	
参加者数	15名	20名

(2) 研究開発・海外販路開拓支援

○機能性表示食品等研究開発推進事業助成金

申請者	所在地	事業概要	交付確定額
フジ日本精糖株	静岡市	イヌリンの粘膜免疫に対する網羅的な臨床試験	9,615千円
株)マルハチ村松	焼津市	排尿トラブルを改善する機能性表示食品の開発	8,394千円

○加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金

申請者	所在地	事業概要	交付確定額
MATCHA KAORI JAPAN株	浜松市	メキシコでの実績を基盤としたカナダへの販路開拓	1,664千円
株)カクニ茶藤	静岡市	新興国（主にインド）市場開拓と静岡茶を使った現地向け商品開発	1,040千円

(3) 需要創造・販路開拓

○しづおか健康食イノベーションセミナー

開催場所	ホテルグランヒルズ静岡（静岡市駿河区南町18-1）
開催日	令和2年10月21日
開催目的	アフターコロナに向けた、人々の健康で豊かな生活を支えるフードビジネスのあるべき姿に着目し、食関連事業者の進むべき方向性を考える。
参加者数	61名

○メディシェフと連携した健康に配慮した新メニュー開発

期間	令和2年7月～3年2月
内容	(一社)日本医食促進協会と連携して、県内15店舗・企業において、健康に配慮した新メニュー・商品開発を実施 7月 キックオフセミナー（静岡県産業経済会館） 専門家が伴走してメニュー開発 11月 試食会（あざれあ） 2月 お披露目会（静岡伊勢丹）

○機能性表示食品などを活用したレシピ開発

期間	令和3年1月26日
内容	静岡ガス エネリアショールーム静岡の料理教室で、プロジェクト成果品の機能性表示食品等6品を素材とした「しづおか野菜で元気ごはん」レシピを開発し、試食会を開催

○食品開発展

開催場所	東京ビックサイト(東京都江東区有明 3-11-1)
開 催 日	令和2年11月16日～18日
開催目的	アジア最大規模の機能性素材展示会に出展し、健康・機能性食材の販路開拓を支援

出展企業	来場者数	商談件数	成約件数	成約金額	出展効果（アンケート）
6社	21,283名	51件	0件	0円	・取引先が広がった、出展企業間の交流が図られた 開催直後の調査

○通販食品展示商談会

開催場所	東京交通会館(東京都千代田区有楽町2-10-1)
開 催 日	令和2年12月1日～2日
開催目的	通販・宅配市場向け専門商談会に出展し、通販市場等の販路開拓を支援

出展企業	来場者数	商談件数	成約件数	成約金額	出展効果（アンケート）
10社	1,856名	91件	0件	0円	・ブース来場者とは、内容の濃い商談ができた 開催直後の調査

○香港における食品テストマーケティング&現地バイヤーとの商談会

フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト成果品や加工食品などの海外展開支援強化を図るため、香港におけるテストマーケティング&現地バイヤーとの商談会を実施した。

テストマーケティング	令和2年10月15日から令和3年1月31日までの109日間、マンションラウンジや商業施設に自動販売機を8か所11台を設置し、県内16社32商品を宣伝・販売することで、市場調査を実施
現地バイヤー向け商品PR会	令和3年1月21日、県内と香港をWebで結び、商品PR(プレゼン)と試食会を開催
現地バイヤーとのWeb商談会	令和3年2月、商品PR会を経て、現地バイヤーと県内企業がWeb商談会を開催

(実績)

テストマーケティング	(自動販売機) 総売上：15600HKD (約21万3,720円/1HKD=13.7円計算) (香港実店舗でのプロモーション販売 R3.1.8-1.31) 総売上6200HKD (約8万4,000円)
現地バイヤー向け商品PR会	(今後の可能性と成約実績) ・既に香港バイヤーより成約確定の商品あり ・毎月定期的な追加発注あり ・継続的に商談も進行中 ・静岡県の特産品に対する興味関心の向上 ・ポップストア(短期実店舗)への展開 ・初回数量+追加発注+成約発注=2,748
現地バイヤーとのWeb商談会	

○日本の食品輸出EXPO

開 催 場 所	WEB
開 催 日	令和2年10月14日～16日
目 的	海外販路開拓の専門展示会に出展し、海外バイヤーとの商談を支援
参 加 社 数	3社